

I 概 説

1 神奈川県レッドデータブックについて

(1) レッドデータブックとは

野生生物について生物学的観点から個々の種の絶滅の危険度を科学的・客観的に評価し、リストアップしたものをレッドリストといい、このリストに種の生態・生息状況や存続を脅かしている原因等の説明を加えた書籍をレッドデータブックという。

レッドデータブックには、環境省が作成する全国版と、各都道府県、市町村がそれぞれの地域内の生息状況等を基に評価して作成する地域版とが存在する。これは、対象範囲が広域な全国版と限定的な地域版とで、同じ種でも絶滅のおそれの程度が異なるためである。

(2) 改訂の背景

本県のレッドデータブックは平成7年(1995年)に『神奈川県レッドデータ生物調査報告書』として初版を発行し、その後平成18年(2006年)に『神奈川県レッドデータ生物調査報告書 2006』として改訂している。

しかし、野生生物の生息・生育環境や個体数は常に変動しており、また、新産地の発見や調査データの蓄積、研究の発展等による分類の見直しや変更が行われることもあり、このような変化に対応するため、適宜見直す必要がある。

今回の改訂は、分類群ごとに順次進めていくこととして、まずは植物分野について、平成29年度から令和元年度まで実施した県内の野生生物の調査結果を基に、各種文献の情報を踏まえ、絶滅のおそれのある野生生物について評価を行ったものである。

(3) 公表

評価した結果は、レッドデータブック発行に先立って、令和2年10月にレッドリストとして県ホームページ上で公表した。

その後、新たな情報等が得られたため、維管束植物についてリストを一部見直し、約16年ぶりに『神奈川県レッドデータブック 2022 植物編』として、改訂版を発行するに至った。

(4) 目的・活用

法的拘束力を伴うものではないが、行政・事業者・県民に対して、貴重な野生生物の現状を理解し、生物多様性保全について意識を醸成することを目的としており、絶滅のおそれのある野生生物の保護・保全を進めるための基礎的な資料として活用されることが期待される。

具体的には、県内の自然環境の保全施策や事業、土地利用調整条例、環境アセスメントでの開発調整における配慮の根拠として重要な位置付けを持つとともに、法定計画策定等の基礎資料として不可欠な情報で、生物多様性の保全等に幅広く役立つものである。

2 調査・検討の概要

(1) 調査対象種の範囲

『神奈川県レッドデータブック 2022 植物編』では、維管束植物、コケ植物、藻類、菌類の4分類群を調査対象としており、このうち藻類は神奈川県において初めて評価をした。

(2) 検討体制

今回の改訂に当たり、野生生物について生物学的観点から個々の種の絶滅の危険度を科学的・客観的に評価するため、各分類群の有識者による委員会を設置するとともに、より専門的な観点から検討するため同植物・菌類部会を設けた。

種の選定及び評価は、まず植物・菌類部会が分類群ごとに野外調査、聞き取り調査、文献調査及び標本調査を行い、得られた知見を基に検討し、評価結果を委員会に報告した。

○ 神奈川県レッドリスト選定・評価委員会

区分	氏名 (敬称略/50音順)	所属等 (リスト作成時点)	専門分野
委員長	瀬能 宏	県立生命の星・地球博物館 主任学芸員	魚類
副委員長	谷川 明男	東京大学大学院農学生命科学研究科 農学特定支援員	クモ類
委員	勝山 輝男	神奈川県植物誌調査会 代表	植物
	加藤 ゆき	県立生命の星・地球博物館 主任学芸員	鳥類
	苅部 治紀	県立生命の星・地球博物館 主任学芸員	昆虫類
	佐藤 武宏	県立生命の星・地球博物館 企画普及課長	貝類・甲殻類
	勝呂 尚之	県水産技術センター内水面試験場 専門研究員	淡水魚類
	鈴木 聡	県立生命の星・地球博物館 学芸員	哺乳類
	田中 徳久	県立生命の星・地球博物館 学芸部長	植物
	松本 涼子	県立生命の星・地球博物館 学芸員	両生・爬虫類

○ 神奈川県レッドリスト選定・評価委員会植物・菌類部会

区分	氏名 (敬称略/50音順)	所属等 (リスト作成時点)	専門分野
部会長	田中 徳久	県立生命の星・地球博物館 学芸部長	維管束植物
委員	秋山 幸也	相模原市立博物館 学芸員	維管束植物
	有川 智己	慶應義塾大学経済学部 教授	コケ植物
	大西 亘	県立生命の星・地球博物館 主任学芸員	維管束植物
	折原 貴道	県立生命の星・地球博物館 主任学芸員	菌類
	勝山 輝男	神奈川県植物誌調査会 代表	維管束植物
	加藤 将	新潟大学教育学部 特任准教授	藻類
	田村 淳	県自然環境保全センター 副技幹	維管束植物
	出川 洋介	筑波大学山岳科学センター菅平高原実験所 准教授	菌類
	平岡 照代	公益財団法人平岡環境科学研究所 理事	コケ植物
	福嶋 悟	藻類研究所分析センター センター長	藻類
	山本 薫	横須賀市自然・人文博物館 学芸員	維管束植物

3 カテゴリーと判定基準

(1) 基本的な考え方

『環境省第4次レッドリスト』、『神奈川県レッドデータ生物調査報告書2006』の状況、他県の情報及び学識者へのヒアリングの結果を踏まえ、レッドデータブック改訂に伴うカテゴリー区分等の基本的な考え方は次のとおりとする。

- ・ カテゴリーの区分等は、「環境省レッドリストカテゴリーと判定基準（2019）」に準拠する。
- ・ 判定基準は、基本的には環境省の基準を用いるが、分類群によっては部会において検討の上、定量的要件の変更、定性的要件の追加等を行った。
- ・ 環境省カテゴリーの要件には当てはまらないが、レッドリストに掲載すべきであると判断される種を抽出するため、神奈川県の特性を踏まえた2つのカテゴリー区分と判定基準及び絶滅危惧種における定性的要件を追加した。

<神奈川県独自のカテゴリー及び判定基準>

カテゴリー及び基本概念	カテゴリーの考え方	判定基準
		定性的要件
準絶滅 絶滅している可能性はあるが、長期間記録が無く、絶滅と判断しない種	十分な調査が実施され、「絶滅」と判断できる場合でも、次の理由から「絶滅」と判断しない種であることを示すものである。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 調査が不十分であったり発見が困難な場合で、本当に絶滅したのか判断が難しい ・ 絶滅と判断できるが、生息できる環境が残されている など 	過去に確実な記録があるが、信頼性の高い調査を行っているにも関わらず、長期間全く記録が無く絶滅している可能性がある種 （生息環境が残っている等の理由で絶滅とは判断しない種）
注目種 環境省のカテゴリーには判定されないが、生息環境や生態的特徴等により注目に値する種	「絶滅危惧」「準絶滅危惧」「情報不足」に該当しない種であるが、次の理由から神奈川県として注目すべき種であることを示すものである。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 良好な環境の指標となっている ・ 特殊な生息環境条件を必要としている ・ 県内が分布の限界となっている ・ 国内的に保護を要するとされている ・ 環境の変化（温暖化等）により近年著しい増減傾向がみられる ・ 本来は亜高山帯の普通種だが県内では低標高地にみられる など 	環境省カテゴリーの要件には該当しないが、種の生態や生息環境の特殊性、特異性、指標性により注目に値すると判断される種 なお、このカテゴリーの対象種には外来種も含むものとする。

<絶滅危惧種における定性的要件>

カテゴリー	定性的要件追加の考え方	判定基準
		定性的要件
絶滅危惧	環境省カテゴリーは、過去から現在までの減少結果等に対する評価であるため、近い将来予定されている開発や駆除計画等による大幅な個体数等減少の情報があっても、評価に影響しないことから、 <u>将来の開発等による影響が大きく上位のランクに移行することが明らかな場合に、県として特に保護すべき種であることを示すものである。</u>	重要な生息地が確実に実行される開発等によって消滅するなど、決定的な要因により上位のカテゴリーに移行することが判明しているもの。

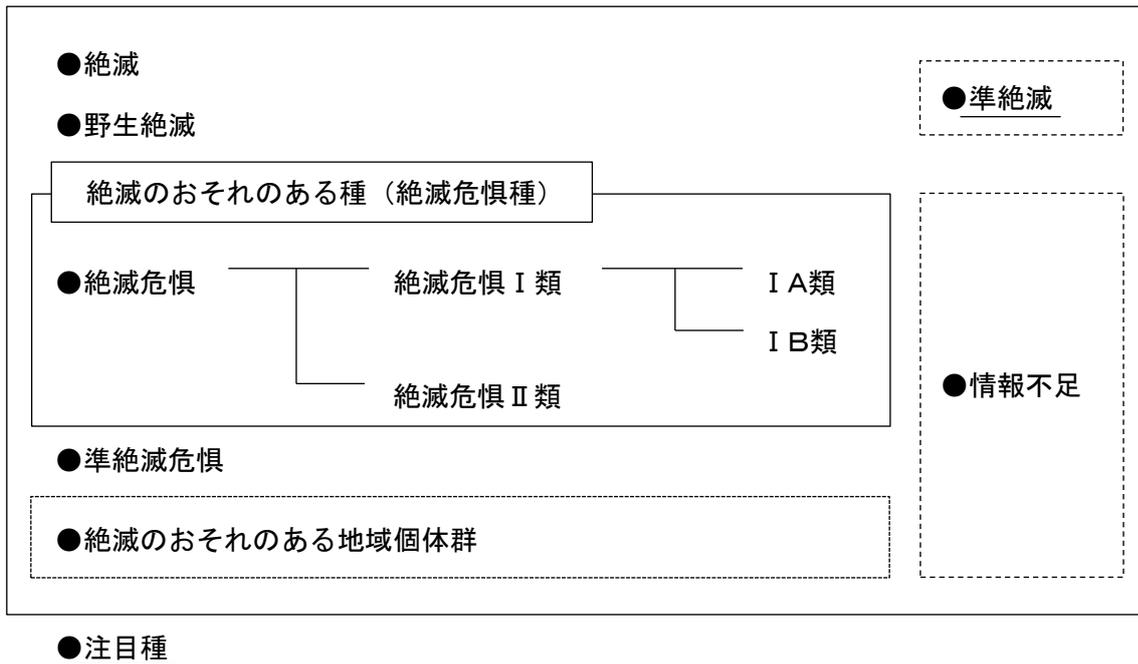
(2) カテゴリーと判定基準

今回の見直しに際して用いたカテゴリーは次のとおりである。

前回の『神奈川県レッドデータ生物調査報告書 2006』と比較して、「消息不明種」、「不明種」、「減少種」、「希少種」、「要注意種」を除外した。これらは、いずれも環境省のレッドリストにはないカテゴリーであり、今回は、より環境省の基準に合わせることにした。

一方、環境省カテゴリーの要件には当てはまらないが、神奈川県として記載することが適切と考える種を抽出するため、県独自のカテゴリーとして「注目種」を前回から引き続き掲載し、「準絶滅」を新たに追加した。

<カテゴリー>



<カテゴリーと判定基準>

カテゴリー及び基本概念	判定基準	
	定性的要件	定量的要件
絶滅 Extinct (EX) 神奈川県ではすでに絶滅したと考えられる種	過去に神奈川県に生息したことが確認されており、飼育・栽培下を含め、神奈川県内ではすでに絶滅したと考えられる種 【確実に情報があるもの】 ①信頼できる調査や記録により、すでに野生で絶滅したことが確認されている。 ②信頼できる複数の調査によっても、生息が確認できなかった。 【情報量が少ないもの】 ③過去 50 年間前後の間に、信頼できる生息の情報が得られていない。	

カテゴリー及び基本概念		判定基準		
		定性的要件	定量的要件	
準絶滅 絶滅している可能性はあるが、長期間記録が無く、絶滅と判断しない種		過去に確実な記録があるが、信頼性の高い調査を行っているにも関わらず、長期間全く記録が無く絶滅している可能性がある種（生息環境が残っている等の理由で絶滅とは判断しない種）		
野生絶滅 Extinct in the Wild (EW) 飼育・栽培下、あるいは自然分布域の明らかに外側で野生化した状態のみ存続している種		過去に神奈川県に生息したことが確認されており、飼育・栽培下、あるいは自然分布の明らかに外側で野生化した状態では存続しているが、神奈川県内において本来の自然の生息地ではすでに絶滅したと考えられる種（具体的要件は「絶滅」と同じ）		
絶滅危惧	絶滅危惧 I 類 Critically Endangered + Endangered (CR+EN) 絶滅の危機に瀕している種 現在の状態をもたらした圧迫要因が引き続き作用する場合、野生での存続が困難なもの。	次のいずれかに該当する種 【確実に情報があるもの】 ①既知のすべての個体群で、危機的水準にまで減少している。 ②既知のすべての生息地で、生息条件が著しく悪化している。 ③既知のすべての個体群がその再生産能力を上回る捕獲・採取圧にさらされている。 ④ほとんどの分布域に交雑のおそれのある別種が侵入している。 【情報量が少ないもの】 ⑤それほど遠くない過去（30年～50年）の生息記録以後確認情報が無く、その後信頼すべき調査が行われていないため、絶滅したかどうかの判断が困難なもの。 【神奈川県要件】 ⑥重要な生息地が確実に実行される開発等によって消滅するなど、決定的な要因により絶滅危惧 I 類に移行することが判明しているもの。	絶滅危惧 I A 類 Critically Endangered (CR) ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの。	【維管束植物のみ】 ・『神植誌 18』の採集調査区数は 4 調査区以下で、採集地数が 1 か所の場合 ※ 3 次メッシュ数や調査区の減少率を補助的使用 あるいは 5 調査区以上で採集されたが、採集された調査区数は『神植誌 88』の調査時より 80%以上減少の場合
			絶滅危惧 I B 類 Endangered (EN) I A 類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの。	【維管束植物のみ】 ・『神植誌 18』の採集調査区数は 4 調査区以下で、採集地数が 2-5 か所の場合 ※ 3 次メッシュ数や調査区の減少率を補助的使用 あるいは 5 調査区以上で採集されたが、採集された調査区数は『神植誌 88』の調査時より 50%以上減少の場合

カテゴリー及び基本概念		判定基準	
		定性的要件	定量的要件
絶滅危惧	絶滅危惧Ⅱ類 Vulnerable (VU) 絶滅の危険が増大している種 現在の状態をもたらした圧迫要因が引き続き作用する場合、近い将来「絶滅危惧Ⅰ類」のカテゴリーに移行することが確実と考えられるもの。	次のいずれかに該当する種 【確実に情報があるもの】 ①大部分の個体群で個体数が大幅に減少している。 ②大部分の生息地で生息条件が明らかに悪化しつつある。 ③大部分の個体群がその再生産能力を上回る捕獲・採取圧にさらされている。 ④分布域の相当部分に交雑可能な別種が侵入している。 【神奈川要件】 ⑤重要な生息地が確実に実行される開発等によって消滅するなど、決定的な要因により絶滅危惧Ⅱ類に移行することが判明しているもの。	【維管束植物のみ】 ・『神植誌 18』の採集調査区数は4調査区以下で、採集地数が6-10か所の場合 ※3次メッシュ数や調査区の減少率を補助的使用あるいは5調査区以上で採集されたが、採集された調査区数は『神植誌 88』の調査時より30%以上減少の場合 ※調査区の減少率が要件外（30%以下の減少率）の場合、3次メッシュの減少率で判定
	準絶滅危惧 Near Threatened (NT) 存続基盤が脆弱な種 現時点での絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」として上位カテゴリーに移行する要素を有するもの。	次に該当する種 生息状況の推移から見て、種の存続への圧迫が強まっていると判断されるもの。具体的には、分布域の一部において、次のいずれかの傾向が顕著であり、今後さらに進行するおそれがあるもの。 a) 個体数が減少している。 b) 生息条件が悪化している。 c) 過度の捕獲・採取圧による圧迫を受けている。 d) 交雑可能な別種が侵入している。	
	情報不足 Data Deficient (DD) 評価するだけの情報が不足している種 現時点での絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」として上位カテゴリーに移行する要素を有するもの。	次に該当する種 環境条件の変化によって、容易に絶滅危惧のカテゴリーに移行し得る属性（具体的には、次のいずれかの要素）を有しているが、生息状況をはじめとして、カテゴリーを判定するに足る情報が得られていない種。 a) どの生息地においても生息密度が低く希少である。 b) 生息地が局限されている。 c) 生物地理上、孤立した分布特性を有する（分布域がごく限られた固有種等） d) 生活史の一部又は全部で特殊な環境条件を必要としている。	

カテゴリー及び基本概念	判定基準	
	定性的要件	定量的要件
絶滅のおそれのある地域個体群 Threatened Local Population (LP) 県内の特定の地域的ににおいて孤立している個体群で、絶滅のおそれが高いもの。	次のいずれかに該当する地域個体群 ①生息状況、学術的価値等の観点から、レッドデータブック掲載種に準じて扱うべきと判断される主の地域個体群で、生息域が孤立しており、地域レベルで見た場合絶滅に瀕しているか、その危険が増大していると判断されるもの。 ②地方型としての特徴を有し、生物地理学的観点から見て重要と判断される地域個体群で、絶滅に瀕しているか、その危険が増大していると判断されるもの。	
注目種 環境省のカテゴリーには判定されないが、生息環境や生態的特徴等により注目に値する種	環境省カテゴリーの要件には該当しないが、種の生態や生息環境の特殊性、特異性、指標性により注目に値すると判断される種 なお、このカテゴリーの対象種には外来種も含むものとする。	

4 選定・評価結果

分類群ごとに集計した評価結果は次のとおりである。

維管束植物、コケ植物及び菌類の、絶滅危惧種（絶滅危惧Ⅰ類、ⅠA類、ⅠB類及びⅡ類）の総数は、前回の『神奈川県レッドデータ生物調査報告書 2006』と比較して、544種から173種増加して717種となった（藻類は今回初めて評価をしており、比較ができないため除く）。

絶滅危惧種の増加には様々な要因が関係しており、その例として、県内に生育・生息する野生生物の調査が進み、評価対象となる種が増加したことが挙げられる。また、県内での個体数が減少したことにより、絶滅危惧種となったものもあり、野生生物の生息・生育環境が依然として厳しい状況にあることを示している。分類群ごとの現状については、それぞれの項を参照されたい。

なお、ここに示した種は、限られた時間と条件下で選定・評価したものであり、県内における実状を完全に反映したものではない。したがって、県内に生育・生息するあらゆる種がその候補であるとの認識して活用されることが望まれる。

<カテゴリー別内訳>

(単位：種)

神奈川県 RDBカテゴリー	分類群							計	
	維管束植物		コケ植物		藻類	菌類		RDB 2006	RDB 2022
	RDB 2006	RDB 2022	RDB 2006	RDB 2022	RDB 2022	RDB 2006	RDB 2022		
絶滅 (EX)	134	122		2	2	7		141	126
準絶滅									
野生絶滅 (EW)						1		1	
絶滅危惧	絶滅危惧Ⅰ類		41	18	10	19	27	60	55
	絶滅危惧ⅠA類 (CR)	223	211					223	211
	絶滅危惧ⅠB類 (EN)	146	212					146	212
	絶滅危惧Ⅱ類 (VU)	87	189	15	29	1	13	31	250
準絶滅危惧 (NT)	14	66	5	11	3	52	31	71	111
情報不足 (DD)	3	9	24	24	1		19	27	53
絶滅のおそれのある地域個体群									
注目種			6		1		14	6	15
合計	607	809	91	84	18	92	122	790	1,033

※ 植物編において、「準絶滅」及び「絶滅のおそれのある地域個体群」に該当する種はない。

※ 菌類では、『神奈川県レッドデータ生物調査報告書 2006』に「/情報不足」と付記されたカテゴリーがあるが、ここではそれを付記しないものとみなして集計してある。

選定種一覧（神奈川県レッドリスト）

※分類群ごとにカテゴリー順に掲載

維管束植物

*維管束植物の和名は、『神奈川県植物誌 2018』に沿って表記した。

◆絶滅（EX）：神奈川県ではすでに絶滅したと考えられる種（122種）

2022 カテゴリー	和名 (科名等)	県RDB2006	環境省RL2020	掲載 ページ
絶滅	アスヒカズラ (シダ植物・ヒカゲノカズラ科)	絶滅	—	57
	ヒモラン (シダ植物・ヒカゲノカズラ科)	絶滅	絶滅危惧 I B 類	58
	ヒモカズラ (シダ植物・イワヒバ科)	絶滅	—	59
	ヒメハナワラビ (シダ植物・ハナヤスリ科)	絶滅	絶滅危惧 II 類	60
	アカウキクサ (シダ植物・サンショウモ科)	絶滅危惧 I A 類	絶滅危惧 I B 類	65
	ヤマソテツ (シダ植物・キジノオシダ科)	絶滅	—	67
	シシラン (シダ植物・イノモトソウ科)	絶滅	—	70
	アオガネシダ (シダ植物・チャセンシダ科)	絶滅	—	75
	シムライノデ (シダ植物・オシダ科)	絶滅	絶滅危惧 I A 類	94
	ヤノネシダ (シダ植物・ウラボシ科)	絶滅	—	94
	クロベ (裸子植物・ヒノキ科)	絶滅	—	99
	ジュンサイ (被子植物・ハゴロモモ科)	絶滅	—	100
	ヒメコウホネ (被子植物・スイレン科)	絶滅	絶滅危惧 II 類	100
	ヒツジグサ (被子植物・スイレン科)	絶滅	—	101
	ヒンジモ (被子植物・サトイモ科)	絶滅	絶滅危惧 II 類	103
	サジオモダカ (被子植物・オモダカ科)	絶滅	—	104
	マルバオモダカ (被子植物・オモダカ科)	絶滅	絶滅危惧 II 類	105
	トチカガミ (被子植物・トチカガミ科)	絶滅	準絶滅危惧	107
	ムサシモ (被子植物・トチカガミ科)	絶滅	絶滅危惧 I B 類	108
	シバナ (被子植物・シバナ科)	絶滅	準絶滅危惧	111
	ガシャモク (被子植物・ヒルムシロ科)	絶滅	絶滅危惧 I A 類	113
	イトクズモ (被子植物・ヒルムシロ科)	絶滅	絶滅危惧 II 類	116
	カワツルモ (被子植物・カワツルモ科)	絶滅	準絶滅危惧	116
	ヒナノシャクジョウ (被子植物・ヒナノシャクジョウ科)	絶滅	—	117
	ホンゴウソウ (被子植物・ホンゴウソウ科)	絶滅	絶滅危惧 II 類	117
	キバナノアマナ (被子植物・ユリ科)	絶滅	—	119
	アツモリソウ (被子植物・ラン科)	絶滅	絶滅危惧 II 類	125
	ダイサギソウ (被子植物・ラン科)	絶滅	絶滅危惧 I B 類	131
	ギボウシラン (被子植物・ラン科)	絶滅	絶滅危惧 I B 類	134
	ヒメムヨウラン (被子植物・ラン科)	絶滅	絶滅危惧 II 類	137
	ムカゴトンボ (被子植物・ラン科)	絶滅	絶滅危惧 I B 類	140
	マイサギソウ (被子植物・ラン科)	絶滅危惧 I A 類	—	142
コバノトンボソウ (被子植物・ラン科)	絶滅	—	143	
キソチドリ (被子植物・ラン科)	絶滅	—	144	
コキンバイザサ (被子植物・キンバイザサ科)	消息不明種	—	147	

2022 カテゴリ	和名 (科名等)	県RDB2006	環境省RL2020	掲載 ページ	
絶 滅	カキツバタ	(被子植物・アヤメ科)	絶滅	準絶滅危惧	149
	アヤメ	(被子植物・アヤメ科)	絶滅	—	149
	ヒメイズイ	(被子植物・キンカク科(クサキカスラ科))	消息不明種	—	152
	ミズアオイ	(被子植物・ミズアオイ科)	絶滅	準絶滅危惧	153
	イヌイ	(被子植物・イグサ科)	絶滅	—	157
	ドロイ	(被子植物・イグサ科)	絶滅	—	157
	トダスゲ	(被子植物・カヤツリグサ科)	消息不明種	絶滅危惧 I A類	159
	ウマスゲ	(被子植物・カヤツリグサ科)	絶滅	—	162
	タチスゲ	(被子植物・カヤツリグサ科)	絶滅	—	163
	オオクグ	(被子植物・カヤツリグサ科)	絶滅	準絶滅危惧	167
	オニナルコスゲ	(被子植物・カヤツリグサ科)	絶滅	—	169
	オニガヤツリ	(被子植物・カヤツリグサ科)	絶滅	—	171
	イヌクログワイ	(被子植物・カヤツリグサ科)	絶滅	—	172
	ヒメハリイ	(被子植物・カヤツリグサ科)	絶滅	—	173
	ヤリハリイ	(被子植物・カヤツリグサ科)	絶滅	—	173
	シズイ	(被子植物・カヤツリグサ科)	絶滅	—	181
	ノグサ	(被子植物・カヤツリグサ科)	—	—	181
	ヒナザサ	(被子植物・イネ科)	絶滅	準絶滅危惧	184
	アワガエリ	(被子植物・イネ科)	絶滅	—	192
	ノカラマツ	(被子植物・キンポウゲ科)	絶滅	絶滅危惧 II類	206
	イズノシマダイモンジソウ	(被子植物・ユキノシタ科)	絶滅	—	210
	ズダヤクシュ	(被子植物・ユキノシタ科)	消息不明種	—	211
	イワレンゲ	(被子植物・ベンケイソウ科)	絶滅	絶滅危惧 II類	213
	ホソバノキリンソウ	(被子植物・ベンケイソウ科)	絶滅	—	213
	タチモ	(被子植物・アリノトウグサ科)	絶滅	準絶滅危惧	214
	フサモ	(被子植物・アリノトウグサ科)	絶滅	—	215
	ハマビシ	(被子植物・ハマビシ科)	絶滅	絶滅危惧 I B類	215
	ユクノキ	(被子植物・マメ科)	絶滅	—	216
	サガミメドハギ	(被子植物・マメ科)	絶滅	絶滅	218
	ミソナオシ	(被子植物・マメ科)	絶滅	—	218
	ミヤマクマヤナギ	(被子植物・クロウメモドキ科)	絶滅	—	226
	ミヤマミズ	(被子植物・イラクサ科)	絶滅	—	229
	ホソバイラクサ	(被子植物・イラクサ科)	消息不明種	—	229
	ヤハズハンノキ	(被子植物・カバノキ科)	絶滅	—	231
アゼオトギリ	(被子植物・オトギリソウ科)	絶滅	絶滅危惧 I B類	233	
ノウルシ	(被子植物・トウダイグサ科)	絶滅	準絶滅危惧	238	
マツバニンジン	(被子植物・アマ科)	絶滅	絶滅危惧 I A類	239	
ミズキカシグサ	(被子植物・ミソハギ科)	絶滅	絶滅危惧 II類	240	
ハクサンハタザオ	(被子植物・アブラナ科)	絶滅	—	245	

2022 カテゴリー	和名 (科名等)	県RDB2006	環境省RL2020	掲載 ページ	
絶 滅	フジハタザオ	(被子植物・アブラナ科)	—	—	245
	ハマハタザオ	(被子植物・アブラナ科)	絶滅	—	246
	ハナハタザオ	(被子植物・アブラナ科)	絶滅	絶滅危惧ⅠA類	246
	クリンキフデ	(被子植物・タデ科)	絶滅	—	248
	ヤナギヌカボ	(被子植物・タデ科)	絶滅	絶滅危惧Ⅱ類	249
	ナガバノウナギツカミ	(被子植物・タデ科)	絶滅	準絶滅危惧	249
	サデクサ	(被子植物・タデ科)	絶滅	—	250
	コミソソバ	(被子植物・タデ科)	—	—	250
	ホソバノウナギツカミ	(被子植物・タデ科)	消息不明種	—	250
	ヌカボタデ	(被子植物・タデ科)	絶滅	絶滅危惧Ⅱ類	251
	ホソバヌタデ	(被子植物・タデ科)	絶滅	準絶滅危惧	251
	イシモチソウ	(被子植物・モウセンゴケ科)	絶滅	準絶滅危惧	253
	ハマアカザ	(被子植物・ヒユ科)	絶滅	—	256
	サワトラノオ	(被子植物・サクラソウ科)	—	絶滅危惧ⅠB類	258
	タイミンタチバナ	(被子植物・サクラソウ科)	絶滅	—	259
	サクラソウ	(被子植物・サクラソウ科)	消息不明種	準絶滅危惧	260
	レンゲツツジ	(被子植物・ツツジ科)	絶滅	—	263
	オオヤマツツジ	(被子植物・ツツジ科)	絶滅	—	264
	コウスノキ	(被子植物・ツツジ科)	—	—	265
	オオバノヨツバムグラ	(被子植物・アカネ科)	絶滅	—	265
	ハナムグラ	(被子植物・アカネ科)	絶滅	絶滅危惧Ⅱ類	266
	ヒメナエ	(被子植物・マチン科)	—	絶滅危惧Ⅱ類	270
	チョウジソウ	(被子植物・キョウチクトウ科)	絶滅	準絶滅危惧	270
	マメダオシ	(被子植物・ヒルガオ科)	—	絶滅危惧ⅠA類	275
	ミミカキグサ	(被子植物・タヌキモ科)	絶滅	—	281
	ホザキノミミカキグサ	(被子植物・タヌキモ科)	絶滅	—	281
	カイジンドウ	(被子植物・シソ科)	絶滅	絶滅危惧Ⅱ類	282
	ヒイラギソウ	(被子植物・シソ科)	絶滅	絶滅危惧ⅠB類	283
	アシタカジャコウソウ	(被子植物・シソ科)	絶滅	—	284
	シロネ	(被子植物・シソ科)	絶滅	—	286
	ヒメハッカ	(被子植物・シソ科)	絶滅	準絶滅危惧	287
	ゴマクサ	(被子植物・ハマウツボ科)	絶滅	絶滅危惧Ⅱ類	290
	ママコナ	(被子植物・ハマウツボ科)	絶滅	—	291
	ハマウツボ	(被子植物・ハマウツボ科)	絶滅	絶滅危惧Ⅱ類	292
シデシャジン	(被子植物・キキョウ科)	絶滅	—	294	
ミツガシワ	(被子植物・ミツガシワ科)	絶滅	—	296	
ガガブタ	(被子植物・ミツガシワ科)	絶滅	準絶滅危惧	296	
アサザ	(被子植物・ミツガシワ科)	絶滅	準絶滅危惧	297	
テイショウソウ	(被子植物・キク科)	絶滅	—	298	

2022 カテゴリ	和名 (科名等)	県RDB2006	環境省RL2020	掲載 ページ
絶 滅	クサヤツデ (被子植物・キク科)	絶滅	—	305
	イズハハコ (被子植物・キク科)	絶滅	絶滅危惧Ⅱ類	306
	フジバカマ (被子植物・キク科)	絶滅	準絶滅危惧	306
	オオニガナ (被子植物・キク科)	絶滅	—	311
	ニッコウヒョウタンボク (被子植物・スイカズラ科)	絶滅	—	321
	カノコソウ (被子植物・スイカズラ科)	絶滅	—	322
	エキサイゼリ (被子植物・セリ科)	絶滅	準絶滅危惧	323
	ドクゼリ (被子植物・セリ科)	—	—	324
	ヌマゼリ (被子植物・セリ科)	絶滅	絶滅危惧Ⅱ類	326

◆絶滅危惧ⅠA類 (GR) : ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高い種 (211種)

2022 カテゴリ	和名 (科名等)	県RDB2006	環境省RL2020	掲載 ページ
絶 滅 危 惧 Ⅰ A 類	ミズスギ (シダ植物・ヒカゲノカズラ科)	絶滅危惧ⅠA類	—	57
	マンネンスギ (シダ植物・ヒカゲノカズラ科)	絶滅危惧ⅠA類	—	58
	ヒメクラマゴケ (シダ植物・イワヒバ科)	—	—	59
	エゾフユノハナワラビ (シダ植物・ハナヤスリ科)	—	—	61
	ホクリクハイホラゴケ (シダ植物・コケシノブ科)	—	—	64
	イズハイホラゴケ (シダ植物・コケシノブ科)	—	—	65
	サンショウモ (シダ植物・サンショウモ科)	絶滅危惧ⅠA類	絶滅危惧Ⅱ類	66
	ウスバイシカグマ (シダ植物・コバノイシカグマ科)	—	準絶滅危惧	68
	ミヤマウラジロ (シダ植物・イノモトソウ科)	—	—	70
	ニシノコハチジョウシダ (シダ植物・イノモトソウ科)	絶滅危惧ⅠA類	—	71
	アイコハチジョウシダ (シダ植物・イノモトソウ科)	—	—	71
	ヤワラハチジョウシダ (シダ植物・イノモトソウ科)	—	絶滅危惧ⅠB類	71
	ヤマドリトラノオ (シダ植物・チャセンシダ科)	絶滅危惧ⅠA類	絶滅危惧ⅠA類	73
	ヌリトラノオ (シダ植物・チャセンシダ科)	絶滅危惧ⅠA類	—	73
	コウザキシダ (シダ植物・チャセンシダ科)	—	—	74
	イワヤシダ (シダ植物・イワヤシダ科)	—	—	76
	タチヒメワラビ (シダ植物・ヒメシダ科)	絶滅	—	76
	イブキシダ (シダ植物・ヒメシダ科)	絶滅危惧ⅠB類	—	77
	メニッコウシダ (シダ植物・ヒメシダ科)	絶滅危惧ⅠB類	—	77
	ハチジョウカグマ (シダ植物・シシガシラ科)	消息不明種	—	78
	ウラボシノコギリシダ (シダ植物・メシダ科)	—	—	79
コシノサトメシダ (シダ植物・メシダ科)	絶滅危惧ⅠA類	—	80	
サキモリイヌワラビ (シダ植物・メシダ科)	絶滅危惧ⅠA類	—	81	
タカネサトメシダ (シダ植物・メシダ科)	絶滅危惧ⅠA類	—	81	
ミヤマシケシダ (シダ植物・メシダ科)	—	—	83	
オオヒメワラビモドキ (シダ植物・メシダ科)	—	—	83	
ヒロハノコギリシダ (シダ植物・メシダ科)	—	—	84	

2022 カテゴリー	和名 (科名等)	県RDB2006	環境省RL2020	掲載 ページ	
絶滅危惧 IA類	シマシロヤマシダ	(シダ植物・メシダ科)	絶滅危惧 I A類	—	85
	ホソバノコギリシダ	(シダ植物・メシダ科)	—	—	85
	ヒュウガシダ	(シダ植物・メシダ科)	—	—	86
	オトコシダ	(シダ植物・オシダ科)	絶滅危惧 I A類	—	88
	ツクシヤブソテツ	(シダ植物・オシダ科)	情報不足	—	88
	ナチクジャク	(シダ植物・オシダ科)	絶滅危惧 I A類	—	89
	イヌナチクジャク	(シダ植物・オシダ科)	—	—	90
	ミヤマベニシダ	(シダ植物・オシダ科)	—	—	91
	ナンカイイタチシダ	(シダ植物・オシダ科)	絶滅	—	93
	ヤシャイノデ	(シダ植物・オシダ科)	絶滅危惧 I A類	絶滅危惧 I B類	93
	ホテイシダ	(シダ植物・ウラボシ科)	絶滅	—	95
	ヒメサザラン	(シダ植物・ウラボシ科)	絶滅危惧 I B類	—	95
	ミヤマウラボシ	(シダ植物・ウラボシ科)	絶滅危惧 I A類	—	96
	シラビソ	(裸子植物・マツ科)	—	—	97
	ハイネズ	(裸子植物・ヒノキ科)	絶滅	—	98
	オキナワハイネズ	(裸子植物・ヒノキ科)	絶滅危惧 I A類	—	99
	コウホネ	(被子植物・スイレン科)	絶滅危惧 I A類	—	100
	バリバリノキ	(被子植物・クスノキ科)	絶滅危惧 I A類	—	102
	オドリコテンナンショウ	(被子植物・サトイモ科)	—	絶滅危惧 I A類	103
	トウゴクヘラオモダカ	(被子植物・オモダカ科)	絶滅危惧 I A類	絶滅危惧 II 類	105
	アギナシ	(被子植物・オモダカ科)	絶滅	準絶滅危惧	105
	スブタ	(被子植物・トチカガミ科)	絶滅	絶滅危惧 II 類	106
	ヤナギスブタ	(被子植物・トチカガミ科)	絶滅危惧 I A類	—	106
	ミカワスブタ	(被子植物・トチカガミ科)	絶滅危惧 I A類	—	106
	ヤマトウミヒルモ	(被子植物・トチカガミ科)	絶滅危惧 I B類	(ウミヒルモ： 準絶滅危惧)	107
	ホッサモ	(被子植物・トチカガミ科)	絶滅危惧 I A類	—	108
	イバラモ	(被子植物・トチカガミ科)	絶滅危惧 I A類	—	109
	トリゲモ	(被子植物・トチカガミ科)	絶滅危惧 I A類	絶滅危惧 II 類	109
	イトイバラモ	(被子植物・トチカガミ科)	絶滅危惧 I A類	絶滅危惧 II 類	110
	コウガイモ	(被子植物・トチカガミ科)	絶滅危惧 I A類	—	111
	フトヒルムシロ	(被子植物・ヒルムシロ科)	絶滅危惧 I A類	—	113
	ササエビモ	(被子植物・ヒルムシロ科)	絶滅危惧 I A類	絶滅危惧 II 類	114
	ヒロハノエビモ	(被子植物・ヒルムシロ科)	絶滅危惧 I A類	—	114
	ネバリノギラン	(被子植物・キンコウカ科)	—	—	116
ソクシンラン	(被子植物・キンコウカ科)	絶滅危惧 I A類	—	117	
クルマバツクバネソウ	(被子植物・シュロソウ科)	絶滅危惧 I A類	—	118	
ホソバノアマナ	(被子植物・ユリ科)	絶滅危惧 I A類	—	120	
キソエビネ	(被子植物・ラン科)	絶滅危惧 I A類	絶滅危惧 I A類	122	
キンセイラン	(被子植物・ラン科)	—	絶滅危惧 II 類	123	

2022 カテゴリー	和名 (科名等)	県RDB2006	環境省RL2020	掲載 ページ	
絶滅危惧 IA類	アオチドリ	(被子植物・ラン科)	絶滅危惧 I A類	—	126
	イチヨウラン	(被子植物・ラン科)	絶滅危惧 I A類	—	126
	カモメラン	(被子植物・ラン科)	絶滅危惧 I A類	準絶滅危惧	128
	カシノキラン	(被子植物・ラン科)	消息不明種	絶滅危惧 II 類	128
	マツラン	(被子植物・ラン科)	絶滅危惧 I A類	絶滅危惧 II 類	129
	ナヨテンマ	(被子植物・ラン科)	—	絶滅危惧 I B類	129
	ムカゴソウ	(被子植物・ラン科)	絶滅危惧 I A類	絶滅危惧 I B類	132
	オオハクウンラン	(被子植物・ラン科)	絶滅危惧 I A類	絶滅危惧 II 類	133
	セイタカズムシソウ	(被子植物・ラン科)	絶滅危惧 I A類	—	135
	ジガバチソウ	(被子植物・ラン科)	絶滅危惧 I B類	—	135
	ホザキイチヨウラン	(被子植物・ラン科)	絶滅危惧 I A類	—	136
	アリドオシラン	(被子植物・ラン科)	絶滅危惧 I A類	—	136
	ノビネチドリ	(被子植物・ラン科)	絶滅危惧 I A類	—	136
	コフタバラン	(被子植物・ラン科)	絶滅危惧 I A類	—	137
	ミヤマモジズリ	(被子植物・ラン科)	絶滅危惧 I A類	—	139
	フジチドリ	(被子植物・ラン科)	絶滅	絶滅危惧 I B類	139
	コケイラン	(被子植物・ラン科)	絶滅危惧 I B類	—	140
	オオバナオオヤマサギソウ	(被子植物・ラン科)	絶滅危惧 I A類	絶滅危惧 I A類	141
	イイヌمامカゴ	(被子植物・ラン科)	絶滅	絶滅危惧 I B類	142
	ナガバノキソチドリ	(被子植物・ラン科)	絶滅危惧 I B類	—	143
	トキシソウ	(被子植物・ラン科)	絶滅危惧 I A類	準絶滅危惧	144
	ヤマトキシソウ	(被子植物・ラン科)	絶滅危惧 I B類	—	145
	ヒナチドリ	(被子植物・ラン科)	絶滅危惧 I A類	絶滅危惧 II 類	145
	ウチヨウラン	(被子植物・ラン科)	絶滅危惧 I A類	絶滅危惧 II 類	145
	クモラン	(被子植物・ラン科)	絶滅危惧 I A類	—	146
	イズアサツキ	(被子植物・ヒガンバナ科)	絶滅危惧 I A類	絶滅危惧 I B類	150
	キヨスミギボウシ	(被子植物・キジカクシ科(オサキカスラ科))	絶滅危惧 I A類	—	151
	ヤマトミクリ	(被子植物・ガマ科)	絶滅危惧 I A類	準絶滅危惧	154
	ヒメミクリ	(被子植物・ガマ科)	絶滅危惧 I B類	絶滅危惧 II 類	154
	イヌノヒゲ	(被子植物・ホシクサ科)	絶滅危惧 I B類	—	155
	クロヒロハノイヌノヒゲ	(被子植物・ホシクサ科)	絶滅危惧 I A類	—	156
	ニッコウコウガイゼキショウ	(被子植物・イグサ科)	絶滅危惧 I A類	—	157
	オカズメノヒエ	(被子植物・イグサ科)	絶滅危惧 I A類	—	158
ミヤマジュズスゲ	(被子植物・カヤツリグサ科)	絶滅危惧 I A類	—	161	
クジュウツリスゲ	(被子植物・カヤツリグサ科)	—	準絶滅危惧	163	
アイノコシラスゲ	(被子植物・カヤツリグサ科)	—	—	166	
マメスゲ	(被子植物・カヤツリグサ科)	絶滅	—	166	
オオタマツリスゲ	(被子植物・カヤツリグサ科)	絶滅	—	166	
サドスゲ	(被子植物・カヤツリグサ科)	絶滅危惧 I A類	—	167	

2022 カテゴリー	和名 (科名等)	県RDB2006	環境省RL2020	掲載 ページ	
絶滅危惧 IA類	ヒメアオガヤツリ	(被子植物・カヤツリグサ科)	絶滅危惧 I A類	—	169
	スジヌマハリイ	(被子植物・カヤツリグサ科)	絶滅	絶滅危惧 II 類	172
	コツブヌマハリイ	(被子植物・カヤツリグサ科)	絶滅危惧 I A類	絶滅危惧 II 類	174
	オオヌマハリイ	(被子植物・カヤツリグサ科)	絶滅危惧 I B類	—	175
	サギスゲ	(被子植物・カヤツリグサ科)	絶滅危惧 I A類	—	175
	オオアゼテンツキ	(被子植物・カヤツリグサ科)	—	—	176
	ノテンツキ	(被子植物・カヤツリグサ科)	絶滅危惧 I A類	—	176
	ヤリテンツキ	(被子植物・カヤツリグサ科)	絶滅危惧 I A類	準絶滅危惧	177
	アオテンツキ	(被子植物・カヤツリグサ科)	絶滅危惧 I A類	—	179
	コイヌノハナヒゲ	(被子植物・カヤツリグサ科)	絶滅危惧 I A類	—	179
	ハタベカンガレイ	(被子植物・カヤツリグサ科)	絶滅危惧 I A類	絶滅危惧 II 類	179
	タタラカンガレイ	(被子植物・カヤツリグサ科)	—	—	180
	タイワンヤマイ	(被子植物・カヤツリグサ科)	絶滅危惧 I A類	—	180
	ヒメコヌカグサ	(被子植物・イネ科)	絶滅危惧 I A類	準絶滅危惧	183
	タカネコウボウ	(被子植物・イネ科)	絶滅危惧 I A類	—	183
	コゴメカゼクサ	(被子植物・イネ科)	絶滅	—	185
	ヒメウキガヤ	(被子植物・イネ科)	絶滅危惧 I B類	—	186
	ミノボロ	(被子植物・イネ科)	絶滅危惧 I B類	—	188
	ケマキヤマザサ	(被子植物・イネ科 (タケ亜科))	—	—	194
	ケスズ	(被子植物・イネ科 (タケ亜科))	—	—	195
	ハスノハカズラ	(被子植物・ツヅラフジ科)	絶滅危惧 I A類	—	198
	ルイヨウショウマ	(被子植物・キンポウゲ科)	絶滅危惧 I B類	—	199
	コバノボタンヅル	(被子植物・キンポウゲ科)	絶滅危惧 I A類	—	202
	ムラサキアズマハンショウヅル	(被子植物・キンポウゲ科)	—	—	203
	バイカオウレン	(被子植物・キンポウゲ科)	絶滅危惧 I B類	—	203
	コキツネノボタン	(被子植物・キンポウゲ科)	絶滅危惧 I A類	絶滅危惧 II 類	204
	バイカモ	(被子植物・キンポウゲ科)	絶滅危惧 I A類	—	205
	ヒキノカサ	(被子植物・キンポウゲ科)	絶滅	絶滅危惧 II 類	205
	モミジカラマツ	(被子植物・キンポウゲ科)	絶滅危惧 I B類	—	207
	ベンケイソウ	(被子植物・ベンケイソウ科)	—	—	211
	アオベンケイ	(被子植物・ベンケイソウ科)	絶滅危惧 I A類	—	212
	ハマナタマメ	(被子植物・マメ科)	絶滅危惧 I A類	—	215
	タヌキマメ	(被子植物・マメ科)	絶滅	—	216
ミヤマトベラ	(被子植物・マメ科)	絶滅危惧 I A類	—	217	
ヨツバハギ	(被子植物・マメ科)	絶滅危惧 I A類	—	219	
ヒナノキンチャク	(被子植物・ヒメハギ科)	絶滅危惧 I A類	絶滅危惧 I B類	219	
チョウセンキンミズヒキ	(被子植物・バラ科)	絶滅危惧 I B類	絶滅危惧 II 類	220	
リンボク	(被子植物・バラ科)	絶滅危惧 I B類	—	222	
ヒメバライチゴ	(被子植物・バラ科)	絶滅危惧 I B類	—	224	

2022 カテゴリー	和名 (科名等)	県RDB2006	環境省RL2020	掲載 ページ	
絶滅危惧 IA類	クロツバラ	(被子植物・クロウメモドキ科)	絶滅危惧 I A類	—	227
	ミヤマイラクサ	(被子植物・イラクサ科)	絶滅危惧 I A類	—	228
	サンショウソウ	(被子植物・イラクサ科)	—	—	228
	ウバメガシ	(被子植物・ブナ科)	絶滅危惧 I A類	—	230
	ヤエガワカンバ	(被子植物・カバノキ科)	絶滅危惧 I A類	準絶滅危惧	231
	エゾノタチツボスミレ	(被子植物・スミレ科)	絶滅危惧 I A類	—	234
	ゲンジスミレ	(被子植物・スミレ科)	絶滅危惧 I A類	—	235
	マキノスミレ	(被子植物・スミレ科)	絶滅危惧 I A類	—	236
	ミヤマヤナギ	(被子植物・ヤナギ科)	絶滅危惧 I B類	—	237
	イワタイゲキ	(被子植物・トウダイグサ科)	絶滅危惧 I A類	—	238
	センダイタイゲキ	(被子植物・トウダイグサ科)	—	準絶滅危惧	238
	オオアカバナ	(被子植物・アカバナ科)	—	絶滅危惧 II 類	241
	ミズユキノシタ	(被子植物・アカバナ科)	絶滅	—	242
	ラセンソウ	(被子植物・アオイ科)	情報不足	—	244
	ナガバノヤノネグサ	(被子植物・タデ科)	絶滅危惧 I A類	—	248
	ヒメタデ	(被子植物・タデ科)	絶滅危惧 I A類	絶滅危惧 II 類	249
	ヒカゲミソソバ	(被子植物・タデ科)	—	—	251
	ニセコガネギンギシ	(被子植物・タデ科)	—	情報不足	253
	ウシオツメクサ	(被子植物・ナデシコ科)	—	—	255
	カワラアカザ	(被子植物・ヒユ科)	絶滅危惧 I A類	—	256
	イワアカザ	(被子植物・ヒユ科)	絶滅危惧 I A類	絶滅危惧 I A類	257
	ノジトラノオ	(被子植物・サクランウ科)	絶滅危惧 I A類	絶滅危惧 II 類	258
	クリンソウ	(被子植物・サクランウ科)	絶滅危惧 I A類	—	259
	ベニドウダン	(被子植物・ツツジ科)	絶滅危惧 I B類	—	261
	コバノミツバツツジ	(被子植物・ツツジ科)	絶滅危惧 I A類	—	263
	シャシャンボ	(被子植物・ツツジ科)	絶滅危惧 I B類	—	264
	サカキカズラ	(被子植物・キョウチクトウ科)	絶滅危惧 I A類	—	271
	ツルガシワ	(被子植物・キョウチクトウ科)	絶滅危惧 I A類	—	273
	スナビキソウ	(被子植物・ムラサキ科)	絶滅危惧 I A類	—	274
	ムラサキ	(被子植物・ムラサキ科)	絶滅危惧 I A類	絶滅危惧 I B類	274
	ルリソウ	(被子植物・ムラサキ科)	絶滅危惧 I A類	—	274
	ヒメトラノオ	(被子植物・オオバコ科)	絶滅危惧 II 類	—	279
	クガイソウ	(被子植物・オオバコ科)	絶滅危惧 I A類	—	279
	ゴマノハグサ	(被子植物・ゴマノハグサ科)	絶滅危惧 I A類	絶滅危惧 II 類	280
ムラサキミミカキグサ	(被子植物・タヌキモ科)	絶滅危惧 I A類	準絶滅危惧	282	
ツルカコソウ	(被子植物・シソ科)	絶滅危惧 I A類	絶滅危惧 II 類	283	
カメバヒキオコシ	(被子植物・シソ科)	絶滅危惧 I A類	—	285	
キセワタ	(被子植物・シソ科)	絶滅危惧 I B類	絶滅危惧 II 類	285	
ミズネコノオ	(被子植物・シソ科)	絶滅	準絶滅危惧	288	

2022 カゴリー	和名 (科名等)	県RDB2006	環境省RL2020	掲載 ページ	
絶滅危惧 IA類	イズコゴメグサ	(被子植物・ハマウツボ科)	絶滅危惧 I A類	絶滅危惧 I B類	290
	タチコゴメグサ	(被子植物・ハマウツボ科)	—	—	291
	クチナシグサ	(被子植物・ハマウツボ科)	絶滅危惧 I A類	—	291
	オオヒキヨモギ	(被子植物・ハマウツボ科)	—	絶滅危惧 II類	293
	フウリンウメモドキ	(被子植物・モチノキ科)	絶滅危惧 I A類	—	293
	モリアザミ	(被子植物・キク科)	絶滅危惧 I A類	—	303
	ハマアザミ	(被子植物・キク科)	絶滅危惧 I A類	—	303
	キセルアザミ	(被子植物・キク科)	絶滅危惧 I A類	—	304
	アズマギク	(被子植物・キク科)	絶滅	—	305
	ハマサワヒヨドリ	(被子植物・キク科)	絶滅危惧 I A類	絶滅危惧 II類	307
	ヤナギタンポポ	(被子植物・キク科)	絶滅危惧 I A類	—	307
	タカサゴソウ	(被子植物・キク科)	絶滅危惧 I A類	絶滅危惧 II類	308
	ヤマタバコ	(被子植物・キク科)	絶滅危惧 I A類	絶滅危惧 I A類	309
	オタカラコウ	(被子植物・キク科)	絶滅危惧 I A類	—	310
	カニコウモリ	(被子植物・キク科)	絶滅危惧 I A類	—	311
	モミジタマブキ	(被子植物・キク科)	—	—	312
	アキノハハコグサ	(被子植物・キク科)	絶滅危惧 I A類	絶滅危惧 I B類	313
	ヒメヒゴタイ	(被子植物・キク科)	絶滅危惧 I A類	絶滅危惧 II類	314
	セイタカトウヒレン	(被子植物・キク科)	絶滅危惧 I A類	—	315
	エゾタンポポ	(被子植物・キク科)	—	—	317
	サワオグルマ	(被子植物・キク科)	絶滅危惧 I A類	—	318
	ヤマシグレ	(被子植物・ガマズミ科)	絶滅危惧 I A類	—	319
	タカノツメ	(被子植物・ウコギ科)	絶滅	—	322
	アマニュー	(被子植物・セリ科)	絶滅危惧 I A類	—	322
	ミシマサイコ	(被子植物・セリ科)	絶滅危惧 I A類	絶滅危惧 II類	323
	ホタルサイコ	(被子植物・セリ科)	絶滅危惧 I A類	—	324
	セリモドキ	(被子植物・セリ科)	絶滅危惧 I A類	—	324
	ムカゴニンジン	(被子植物・セリ科)	絶滅危惧 I A類	—	325

◆絶滅危惧 IB類 (EN) : IA類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高い種 (212種)

2022 カゴリー	和名 (科名等)	県RDB2006	環境省RL2020	掲載 ページ	
絶滅危惧 IB類	ヒメスギラン	(シダ植物・ヒカゲノカズラ科)	絶滅危惧 I B類	—	57
	エゾノヒメクラマゴケ	(シダ植物・イワヒバ科)	絶滅危惧 II類	—	59
	ヤマハナワラビ	(シダ植物・ハナヤスリ科)	—	—	61
	リュウビнтаイ	(シダ植物・リュウビнтаイ科)	—	—	62
	ヤマドリゼンマイ	(シダ植物・ゼンマイ科)	絶滅危惧 I B類	—	63
	キヨスミコケシノブ	(シダ植物・コケシノブ科)	絶滅危惧 I B類	—	63
	ミウラハイホラゴケ	(シダ植物・コケシノブ科)	—	絶滅危惧 I B類	64
	ハマホラシノブ	(シダ植物・ホングウシダ科)	絶滅危惧 I B類	—	67

2022 カテゴリー	和名 (科名等)	県RDB2006	環境省RL2020	掲載 ページ	
絶滅危惧 IB類	ユノミネシダ	(シダ植物・コバノイシカグマ科)	—	—	68
	タキミシダ	(シダ植物・イノモトソウ科)	絶滅危惧 I A類	絶滅危惧 I B類	69
	ハチジョウシダ	(シダ植物・イノモトソウ科)	絶滅危惧 I B類	—	70
	ナチシダ	(シダ植物・イノモトソウ科)	絶滅危惧 I A類	—	72
	ウスヒメワラビ	(シダ植物・ナヨシダ科)	絶滅危惧 I A類	—	72
	クルマシダ	(シダ植物・チャセンシダ科)	絶滅危惧 I A類	—	75
	イワハリガネワラビ	(シダ植物・ヒメシダ科)	—	—	77
	ケホシダ	(シダ植物・ヒメシダ科)	—	—	78
	サトメシダ	(シダ植物・メシダ科)	絶滅危惧 I A類	—	79
	ミヤコイヌワラビ	(シダ植物・メシダ科)	絶滅危惧 I A類	—	79
	トガリバイヌワラビ	(シダ植物・メシダ科)	—	—	80
	イッポンワラビ	(シダ植物・メシダ科)	絶滅危惧 I A類	—	82
	ウスゲミヤマシケシダ	(シダ植物・メシダ科)	—	—	82
	コヒロハシケシダ	(シダ植物・メシダ科)	—	—	83
	ミドリワラビ	(シダ植物・メシダ科)	絶滅危惧 I B類	—	84
	オオバミヤマノコギリシダ	(シダ植物・メシダ科)	—	—	85
	ミヤマノコギリシダ	(シダ植物・メシダ科)	絶滅危惧 I A類	—	86
	シノブカグマ	(シダ植物・オシダ科)	絶滅危惧 I A類	—	87
	ワカナシダ	(シダ植物・オシダ科)	絶滅危惧 I A類	—	90
	キヨズミオオクジャク	(シダ植物・オシダ科)	絶滅危惧 I B類	—	91
	ホオノカワシダ	(シダ植物・オシダ科)	絶滅危惧 I A類	—	92
	ナガサキシダ	(シダ植物・オシダ科)	絶滅危惧 I B類	—	92
	タニヘゴ	(シダ植物・オシダ科)	絶滅危惧 I A類	—	92
	ホソイノデ	(シダ植物・オシダ科)	絶滅危惧 I A類	—	93
	アオネカズラ	(シダ植物・ウラボシ科)	絶滅危惧 I B類	—	94
	コメツガ	(裸子植物・マツ科)	絶滅危惧 I A類	—	98
	イブキ	(裸子植物・ヒノキ科)	絶滅危惧 I A類	—	98
	ウスバサイシン	(被子植物・ウマノスズクサ科)	絶滅危惧 II類	—	101
	カナクキノキ	(被子植物・クスノキ科)	絶滅危惧 I B類	—	102
	クロモ	(被子植物・トチカガミ科)	絶滅危惧 I B類	—	107
	セキシウモ	(被子植物・トチカガミ科)	絶滅危惧 I B類	—	110
	エビアマモ	(被子植物・アマモ科)	絶滅危惧 I A類	準絶滅危惧	111
イトモ	(被子植物・ヒルムシロ科)	絶滅危惧 II類	準絶滅危惧	112	
ホソバミズヒキモ	(被子植物・ヒルムシロ科)	絶滅危惧 I B類	—	114	
ツツイトモ	(被子植物・ヒルムシロ科)	—	絶滅危惧 II類	115	
クルマユリ	(被子植物・ユリ科)	絶滅危惧 I A類	—	119	
ヤマジノホトトギス	(被子植物・ユリ科)	絶滅危惧 I A類	—	120	
サガミジョウロウホトトギス	(被子植物・ユリ科)	絶滅危惧 I B類	絶滅危惧 I B類	120	
ムギラン	(被子植物・ラン科)	絶滅危惧 I A類	準絶滅危惧	122	

2022 カテゴリー	和名 (科名等)	県RDB2006	環境省RL2020	掲載 ページ	
絶滅危惧 IB類	ナツエビネ	(被子植物・ラン科)	絶滅危惧 I A類	絶滅危惧 II 類	123
	ユウシュンラン	(被子植物・ラン科)	絶滅危惧 I B類	絶滅危惧 II 類	124
	コアツモリソウ	(被子植物・ラン科)	絶滅危惧 I B類	準絶滅危惧	125
	セッコク	(被子植物・ラン科)	絶滅危惧 I B類	—	126
	ハコネラン	(被子植物・ラン科)	絶滅危惧 II 類	絶滅危惧 II 類	127
	シロテンマ	(被子植物・ラン科)	絶滅危惧 I A類	絶滅危惧 I A類	129
	ハチジョウシュスラン	(被子植物・ラン科)	絶滅危惧 I A類	—	130
	ツリシュスラン	(被子植物・ラン科)	絶滅危惧 I B類	—	131
	ミズトンボ	(被子植物・ラン科)	絶滅危惧 I B類	絶滅危惧 II 類	132
	ハクウンラン	(被子植物・ラン科)	絶滅危惧 II 類	—	133
	フガクスズムシ	(被子植物・ラン科)	絶滅危惧 I A類	—	134
	スズムシソウ	(被子植物・ラン科)	絶滅危惧 I B類	—	135
	タンザワサカネラン	(被子植物・ラン科)	—	絶滅危惧 I B類	137
	アオフタバラン	(被子植物・ラン科)	絶滅危惧 II 類	—	138
	ムカゴサイシン	(被子植物・ラン科)	絶滅	絶滅危惧 I B類	139
	ジンバイソウ	(被子植物・ラン科)	絶滅危惧 II 類	—	141
	ミズチドリ	(被子植物・ラン科)	絶滅危惧 I B類	—	141
	ツレサギソウ	(被子植物・ラン科)	絶滅危惧 I A類	—	142
	ヤマサギソウ	(被子植物・ラン科)	絶滅危惧 I A類	—	143
	オオヤマサギソウ	(被子植物・ラン科)	絶滅危惧 II 類	—	144
	フウラン	(被子植物・ラン科)	絶滅危惧 I B類	絶滅危惧 II 類	147
	ノハナショウブ	(被子植物・アヤメ科)	絶滅危惧 I B類	—	148
	ヒメシャガ	(被子植物・アヤメ科)	絶滅危惧 II 類	準絶滅危惧	148
	ヒメニラ	(被子植物・ヒガンバナ科)	絶滅危惧 I B類	—	149
	タマムラサキ	(被子植物・ヒガンバナ科)	—	—	150
	ハマオモト	(被子植物・ヒガンバナ科)	絶滅危惧 I A類	—	150
	オオキツネノカミソリ	(被子植物・ヒガンバナ科)	絶滅危惧 I A類	—	151
	ハルナユキザサ	(被子植物・キジカクシ科(カサガサ科))	絶滅危惧 I B類	—	152
	ナガエミクリ	(被子植物・ガマ科)	絶滅危惧 I B類	準絶滅危惧	154
	イトイヌノヒゲ	(被子植物・ホシクサ科)	絶滅危惧 I B類	—	155
	ニッポンイヌノヒゲ	(被子植物・ホシクサ科)	絶滅	—	156
	アサギスズメノヒエ	(被子植物・イグサ科)	—	—	158
	イセウキヤガラ	(被子植物・カヤツリグサ科)	絶滅危惧 I B類	—	158
	イトテンツキ	(被子植物・カヤツリグサ科)	絶滅危惧 I A類	準絶滅危惧	159
ジョウロウスゲ	(被子植物・カヤツリグサ科)	絶滅危惧 I A類	絶滅危惧 II 類	160	
コタヌキラン	(被子植物・カヤツリグサ科)	絶滅危惧 II 類	—	161	
サナギスゲ	(被子植物・カヤツリグサ科)	絶滅危惧 I A類	—	162	
コハリスゲ	(被子植物・カヤツリグサ科)	絶滅危惧 I A類	—	162	
アワボスゲ	(被子植物・カヤツリグサ科)	絶滅危惧 II 類	—	164	

2022 カテゴリー	和名 (科名等)	県RDB2006	環境省RL2020	掲載 ページ	
絶滅危惧 IB類	アオバスケ	(被子植物・カヤツリグサ科)	—	—	165
	ヒメモエギスゲ	(被子植物・カヤツリグサ科)	絶滅危惧 I A類	—	165
	カンエンガヤツリ	(被子植物・カヤツリグサ科)	絶滅危惧 I B類	絶滅危惧 II 類	170
	ヒメガヤツリ	(被子植物・カヤツリグサ科)	絶滅危惧 I A類	—	171
	ミツカドシカクイ	(被子植物・カヤツリグサ科)	絶滅危惧 II 類	—	174
	コアゼテンツキ	(被子植物・カヤツリグサ科)	絶滅危惧 I A類	—	176
	クグテンツキ	(被子植物・カヤツリグサ科)	—	—	177
	ナガボテンツキ	(被子植物・カヤツリグサ科)	絶滅危惧 I A類	—	177
	ビロードテンツキ	(被子植物・カヤツリグサ科)	絶滅危惧 I B類	—	178
	ヒメホタルイ	(被子植物・カヤツリグサ科)	準絶滅危惧	—	180
	コマツカサススキ	(被子植物・カヤツリグサ科)	絶滅危惧 I A類	—	181
	コシンジュガヤ	(被子植物・カヤツリグサ科)	絶滅危惧 I A類	—	182
	ハネガヤ	(被子植物・イネ科)	—	—	182
	コウヤザサ	(被子植物・イネ科)	絶滅危惧 I A類	—	184
	カモノハシ	(被子植物・イネ科)	—	—	187
	ミヤマササガヤ	(被子植物・イネ科)	—	—	188
	イトアゼガヤ	(被子植物・イネ科)	—	—	188
	コメガヤ	(被子植物・イネ科)	絶滅危惧 I A類	—	189
	ミチシバ	(被子植物・イネ科)	絶滅危惧 I B類	—	189
	イブキヌカボ	(被子植物・イネ科)	—	—	189
	アリマコスズ	(被子植物・イネ科 (タケ亜科))	絶滅危惧 II 類	—	190
	オオシダザサ	(被子植物・イネ科 (タケ亜科))	絶滅危惧 II 類	—	191
	イナコスズ	(被子植物・イネ科 (タケ亜科))	準絶滅危惧	—	192
	ヨコハマダケ	(被子植物・イネ科 (タケ亜科))	絶滅危惧 I A類	—	193
	ミヤギザサ	(被子植物・イネ科 (タケ亜科))	準絶滅危惧	—	195
	ヤマキタダケ	(被子植物・イネ科 (タケ亜科))	絶滅危惧 II 類	—	195
	ナガミノオニシバ	(被子植物・イネ科)	絶滅危惧 I A類	—	196
	マツモ	(被子植物・マツモ科)	絶滅危惧 I B類	—	197
	アズマレイジンソウ	(被子植物・キンポウゲ科)	絶滅危惧 I A類	—	199
	レンゲショウマ	(被子植物・キンポウゲ科)	絶滅危惧 I B類	—	200
	リュウキンカ	(被子植物・キンポウゲ科)	絶滅危惧 I B類	—	201
	トリガタハンショウヅル	(被子植物・キンポウゲ科)	—	—	202
	スハマソウ	(被子植物・キンポウゲ科)	絶滅危惧 I B類	—	204
	オキナグサ	(被子植物・キンポウゲ科)	絶滅危惧 I A類	絶滅危惧 II 類	204
イワカラマツ	(被子植物・キンポウゲ科)	絶滅危惧 I A類	絶滅危惧 II 類	206	
ベニバナヤマシャクヤク	(被子植物・ボタン科)	絶滅危惧 I A類	絶滅危惧 II 類	207	
ザリコミ	(被子植物・スグリ科)	絶滅危惧 I B類	—	208	
イワネコノメソウ	(被子植物・ユキノシタ科)	—	—	209	
コガネコノメソウ	(被子植物・ユキノシタ科)	絶滅危惧 II 類	—	209	

2022 カテゴリー	和名 (科名等)	県RDB2006	環境省RL2020	掲載 ページ	
絶滅危惧 IB類	ジンジソウ	(被子植物・ユキノシタ科)	—	—	210
	イワユキノシタ	(被子植物・ユキノシタ科)	絶滅危惧 I A類	—	211
	ミツバベンケイソウ	(被子植物・ベンケイソウ科)	絶滅危惧 II類	—	212
	ショウドシマベンケイソウ	(被子植物・ベンケイソウ科)	—	—	212
	メノマンネングサ	(被子植物・ベンケイソウ科)	絶滅危惧 I A類	—	214
	イタチササゲ	(被子植物・マメ科)	絶滅危惧 I B類	—	217
	レンリソウ	(被子植物・マメ科)	絶滅危惧 I B類	—	217
	ハコネキンミズヒキ	(被子植物・バラ科)	—	—	220
	ザイフリボク	(被子植物・バラ科)	絶滅危惧 I A類	—	220
	ヤブザクラ	(被子植物・バラ科)	絶滅危惧 II類	絶滅危惧 I B類	221
	シロバナノヘビイチゴ	(被子植物・バラ科)	—	—	221
	ツルキジムシロ	(被子植物・バラ科)	絶滅危惧 I B類	—	224
	サナギイチゴ	(被子植物・バラ科)	絶滅危惧 I A類	絶滅危惧 II類	225
	ネコノチチ	(被子植物・クロウメモドキ科)	絶滅危惧 I A類	—	227
	ツルマオ	(被子植物・イラクサ科)	絶滅危惧 I A類	—	229
	ダケカンバ	(被子植物・カバノキ科)	—	—	232
	ウメバチソウ	(被子植物・ニシキギ科)	絶滅危惧 I B類	—	232
	コミヤマカタバミ	(被子植物・カタバミ科)	絶滅危惧 I B類	—	233
	ハマオトギリ	(被子植物・オトギリソウ科)	—	—	233
	ミズオトギリ	(被子植物・オトギリソウ科)	絶滅危惧 I B類	—	234
	シハイスミレ	(被子植物・スマレ科)	消息不明種	—	236
	オオタチヤナギ	(被子植物・ヤナギ科)	—	—	237
	オオキツネヤナギ	(被子植物・ヤナギ科)	—	—	237
	タチフウロ	(被子植物・フウロソウ科)	絶滅危惧 I B類	—	239
	ヒメアカバナ	(被子植物・アカバナ科)	絶滅危惧 I B類	—	241
	ヒトツバカエデ	(被子植物・ムクロジ科)	絶滅危惧 I B類	—	243
	コウシンテツカエデ	(被子植物・ムクロジ科)	絶滅危惧 I A類	—	243
	ハマボウ	(被子植物・アオイ科)	絶滅危惧 I A類	—	243
	ミヤマハタザオ	(被子植物・アブラナ科)	絶滅危惧 I B類	—	245
	コンロンソウ	(被子植物・アブラナ科)	絶滅危惧 I A類	—	246
	ミヤマツチトリモチ	(被子植物・ツチトリモチ科)	絶滅危惧 I B類	絶滅危惧 II類	247
	マダイオウ	(被子植物・タデ科)	絶滅	—	252
	モウセンゴケ	(被子植物・モウセンゴケ科)	絶滅危惧 I B類	—	253
	ワダソウ	(被子植物・ナデシコ科)	絶滅危惧 I B類	—	254
ハママツナ	(被子植物・ヒユ科)	絶滅危惧 I B類	—	257	
ナツツバキ	(被子植物・ツバキ科)	絶滅危惧 I B類	—	260	
ヒトツバイチヤクソウ	(被子植物・ツツジ科)	—	—	262	
サツキ	(被子植物・ツツジ科)	絶滅危惧 I B類	—	262	
ヒカゲツツジ	(被子植物・ツツジ科)	絶滅危惧 I B類	—	262	

2022 カテゴリー	和名 (科名等)	県RDB2006	環境省RL2020	掲載 ページ	
絶滅危惧 IB類	ムラサキツリガネツツジ	(被子植物・ツツジ科)	絶滅危惧 I B類	絶滅危惧 II 類	263
	ウスユキムグラ	(被子植物・アカネ科)	絶滅危惧 I B類	—	266
	オオキヌタソウ	(被子植物・アカネ科)	絶滅危惧 I A類	—	267
	カギカズラ	(被子植物・アカネ科)	絶滅危惧 I B類	—	268
	ホソバツルリンドウ	(被子植物・リンドウ科)	絶滅危惧 I B類	絶滅危惧 II 類	269
	ムラサキセンブリ	(被子植物・リンドウ科)	絶滅危惧 I A類	準絶滅危惧	269
	イヌセンブリ	(被子植物・リンドウ科)	絶滅危惧 I B類	絶滅危惧 II 類	269
	シタキソウ	(被子植物・キョウチクトウ科)	—	—	271
	フナバラソウ	(被子植物・キョウチクトウ科)	絶滅危惧 I A類	絶滅危惧 II 類	272
	コカメツル	(被子植物・キョウチクトウ科)	消息不明種	—	272
	ウンラン	(被子植物・オオバコ科)	絶滅危惧 I A類	—	278
	サツキヒナノウスツボ	(被子植物・ゴマノハグサ科)	絶滅危惧 I A類	—	280
	イヌタヌキモ	(被子植物・タヌキモ科)	絶滅危惧 I A類	準絶滅危惧	281
	タヌキモ	(被子植物・タヌキモ科)	絶滅危惧 I A類	準絶滅危惧	282
	シマクサギ	(被子植物・シソ科)	絶滅危惧 I B類	—	284
	タカクマヒキオコシ	(被子植物・シソ科)	絶滅危惧 II 類	—	285
	マネキグサ	(被子植物・シソ科)	絶滅危惧 I B類	準絶滅危惧	286
	エゾシロネ	(被子植物・シソ科)	絶滅危惧 I B類	—	286
	シソバタツナミソウ	(被子植物・シソ科)	消息不明種	—	289
	トウゴクシソバタツナミ	(被子植物・シソ科)	消息不明種	—	289
	フクシマシャジン	(被子植物・キキョウ科)	絶滅危惧 I A類	—	293
	サワギキョウ	(被子植物・キキョウ科)	絶滅危惧 I B類	—	295
	キキョウ	(被子植物・キキョウ科)	絶滅危惧 I A類	絶滅危惧 II 類	295
	ヤマノコギリソウ	(被子植物・キク科)	絶滅危惧 I A類	—	297
	ノコギリソウ	(被子植物・キク科)	絶滅危惧 I B類	—	297
	ユキヨモギ	(被子植物・キク科)	絶滅危惧 I B類	絶滅危惧 I B類	299
	ヒメシオン	(被子植物・キク科)	絶滅危惧 I A類	—	300
	カワラノギク	(被子植物・キク科)	絶滅危惧 I A類	絶滅危惧 II 類	300
	サワシロギク	(被子植物・キク科)	絶滅危惧 II 類	—	300
	ノッポロガンクビソウ	(被子植物・キク科)	—	—	302
	オオガンクビソウ	(被子植物・キク科)	絶滅危惧 I A類	—	302
	タカアザミ	(被子植物・キク科)	—	—	303
	サワヒヨドリ	(被子植物・キク科)	—	—	306
	メタカラコウ	(被子植物・キク科)	絶滅危惧 I B類	—	310
オオモミジガサ	(被子植物・キク科)	絶滅危惧 I B類	—	310	
イズカニコウモリ	(被子植物・キク科)	絶滅危惧 I B類	絶滅危惧 II 類	311	
ウスゲタマブキ	(被子植物・キク科)	—	—	312	
アカイシコウゾリナ	(被子植物・キク科)	—	—	313	
キクアザミ	(被子植物・キク科)	絶滅危惧 I B類	—	315	

2022 カゴリー	和名 (科名等)	県RDB2006	環境省RL2020	掲載 ページ	
絶滅危惧 IB類	ハマアキノキリンソウ	(被子植物・キク科)	絶滅危惧 I A類	—	316
	ハバヤマボクチ	(被子植物・キク科)	—	—	317
	コウリンカ	(被子植物・キク科)	絶滅危惧 I A類	絶滅危惧 II 類	318
	オカオグルマ	(被子植物・キク科)	—	—	318
	ウラギク	(被子植物・キク科)	絶滅危惧 II 類	準絶滅危惧	319
	オナモミ	(被子植物・キク科)	絶滅危惧 I B類	絶滅危惧 II 類	319
	コツクバネウツギ	(被子植物・スイカズラ科)	—	—	320
	ハナビゼリ	(被子植物・セリ科)	絶滅危惧 I A類	—	323
	イブキボウフウ	(被子植物・セリ科)	絶滅危惧 I B類	—	325

◆絶滅危惧 II 類 (VU) : 絶滅の危険が増大している種 (189 種)

2022 カゴリー	和名 (科名等)	県RDB2006	環境省RL2020	掲載 ページ	
絶滅危惧 II類	スギラン	(シダ植物・ヒカゲノカズラ科)	絶滅危惧 II 類	絶滅危惧 II 類	58
	ミズニラ	(シダ植物・ミズニラ科)	絶滅危惧 I B類	準絶滅危惧	60
	コケシノブ	(シダ植物・コケシノブ科)	準絶滅危惧	—	64
	デンジソウ	(シダ植物・デンジソウ科)	絶滅危惧 II 類	絶滅危惧 II 類	65
	オオアカウキクサ	(シダ植物・サンショウモ科)	絶滅危惧 II 類	絶滅危惧 I B類	66
	イシカグマ	(シダ植物・コバノイシカグマ科)	絶滅危惧 I B類	—	68
	ヒメウラジロ	(シダ植物・イノモトソウ科)	絶滅危惧 I B類	絶滅危惧 II 類	69
	ハチジョウシダモドキ	(シダ植物・イノモトソウ科)	絶滅危惧 I B類	—	72
	ヒメイワトラノオ	(シダ植物・チャセンシダ科)	絶滅危惧 II 類	—	73
	チャセンシダ	(シダ植物・チャセンシダ科)	絶滅危惧 I A類	—	74
	イヌチャセンシダ	(シダ植物・チャセンシダ科)	絶滅危惧 I B類	—	75
	ホウビシダ	(シダ植物・チャセンシダ科)	絶滅危惧 I A類	—	76
	ムクゲシケシダ	(シダ植物・メシダ科)	絶滅危惧 II 類	—	82
	ニセコクモウクジャク	(シダ植物・メシダ科)	絶滅危惧 I B類	—	84
	オニヒカゲワラビ	(シダ植物・メシダ科)	絶滅危惧 II 類	—	86
	コクモウクジャク	(シダ植物・メシダ科)	絶滅危惧 I B類	—	87
	ミドリカナワラビ	(シダ植物・オシダ科)	絶滅危惧 II 類	—	87
	ヒロハヤブソテツ	(シダ植物・オシダ科)	絶滅危惧 I B類	—	88
	ハチジョウベニシダ	(シダ植物・オシダ科)	絶滅危惧 II 類	—	89
	シラネワラビ	(シダ植物・オシダ科)	準絶滅危惧	—	89
	イワヤナギシダ	(シダ植物・ウラボシ科)	絶滅危惧 I A類	—	95
	オオクボシダ	(シダ植物・ウラボシ科)	—	—	96
	ハリモミ	(裸子植物・マツ科)	絶滅危惧 II 類	—	97
	ゴヨウマツ	(裸子植物・マツ科)	絶滅危惧 I A類	—	97
	タマノカンアオイ	(被子植物・ウマノスズクサ科)	絶滅危惧 II 類	絶滅危惧 II 類	102
	ハウチワテンナンショウ	(被子植物・サトイモ科)	—	—	103
	チャボゼキショウ	(被子植物・チシマゼキショウ科)	—	—	104

2022 カテゴリー	和名 (科名等)	県RDB2006	環境省RL2020	掲載 ページ	
絶滅危惧Ⅱ類	ミズオオバコ	(被子植物・トチカガミ科)	絶滅危惧ⅠB類	絶滅危惧Ⅱ類	110
	タチアマモ	(被子植物・アマモ科)	絶滅危惧ⅠB類	絶滅危惧Ⅱ類	112
	コアマモ	(被子植物・アマモ科)	絶滅危惧ⅠB類	—	112
	リュウノヒゲモ	(被子植物・ヒルムシロ科)	絶滅危惧ⅠB類	準絶滅危惧	115
	ミヤマエンレイソウ	(被子植物・シュロソウ科)	—	—	118
	シュロソウ	(被子植物・シュロソウ科)	—	—	118
	カタクリ	(被子植物・ユリ科)	絶滅危惧ⅠB類	—	119
	ナギラン	(被子植物・ラン科)	絶滅危惧ⅠA類	絶滅危惧Ⅱ類	124
	クマガイソウ	(被子植物・ラン科)	絶滅危惧ⅠB類	絶滅危惧Ⅱ類	125
	エゾスズラン	(被子植物・ラン科)	絶滅危惧ⅠA類	(ハマカキラン： 絶滅危惧Ⅱ類)	127
	カキラン	(被子植物・ラン科)	絶滅危惧ⅠB類	—	127
	オノエラン	(被子植物・ラン科)	絶滅危惧Ⅱ類	—	128
	アケボノシュスラン	(被子植物・ラン科)	絶滅危惧Ⅱ類	—	130
	シュスラン	(被子植物・ラン科)	絶滅危惧ⅠA類	—	131
	ヒメノヤガラ	(被子植物・ラン科)	絶滅危惧ⅠB類	絶滅危惧Ⅱ類	132
	ムヨウラン	(被子植物・ラン科)	—	—	133
	ヒメフタバラン	(被子植物・ラン科)	絶滅	—	138
	サカネラン	(被子植物・ラン科)	絶滅危惧ⅠB類	絶滅危惧Ⅱ類	138
	ヨウラクラン	(被子植物・ラン科)	絶滅危惧Ⅱ類	—	140
	ヒトツボクロ	(被子植物・ラン科)	絶滅危惧Ⅱ類	—	146
	カゲロウラン	(被子植物・ラン科)	絶滅危惧Ⅱ類	準絶滅危惧	147
	ヒオウギ	(被子植物・アヤメ科)	—	—	148
	キジカクシ	(被子植物・キジカクシ科(オサギカスラ科))	絶滅危惧ⅠB類	—	151
	ヒメコウガイゼキショウ	(被子植物・イグサ科)	絶滅危惧ⅠA類	—	156
	マツバスゲ	(被子植物・カヤツリグサ科)	絶滅危惧ⅠB類	—	160
	ハリガネスゲ	(被子植物・カヤツリグサ科)	—	—	160
	オクノカンスゲ	(被子植物・カヤツリグサ科)	—	—	161
	ヤガミスゲ	(被子植物・カヤツリグサ科)	絶滅危惧ⅠB類	—	163
	ヒカゲハリスゲ	(被子植物・カヤツリグサ科)	—	—	164
	オタルスゲ	(被子植物・カヤツリグサ科)	—	—	164
	ヒメスゲ	(被子植物・カヤツリグサ科)	—	—	165
	クサスゲ	(被子植物・カヤツリグサ科)	—	—	167
	センダイスゲ	(被子植物・カヤツリグサ科)	絶滅危惧Ⅱ類	—	168
ツルミヤマカンスゲ	(被子植物・カヤツリグサ科)	—	—	168	
ヒトモトスキ	(被子植物・カヤツリグサ科)	—	—	169	
ツルナシコアゼガヤツリ	(被子植物・カヤツリグサ科)	—	—	170	
タチヒメクグ	(被子植物・カヤツリグサ科)	絶滅危惧ⅠA類	—	170	
シロガヤツリ	(被子植物・カヤツリグサ科)	絶滅危惧ⅠB類	—	171	
セイタカハリイ	(被子植物・カヤツリグサ科)	—	—	172	

2022 カテゴリー	和名 (科名等)	県RDB2006	環境省RL2020	掲載 ページ	
絶滅危惧Ⅱ類	ハリイ	(被子植物・カヤツリグサ科)	—	—	173
	アゼテンツキ	(被子植物・カヤツリグサ科)	—	—	178
	メアゼテンツキ	(被子植物・カヤツリグサ科)	—	—	178
	ヒロハノハネガヤ	(被子植物・イネ科)	絶滅危惧ⅠA類	—	182
	コミヤマヌカボ	(被子植物・イネ科)	準絶滅危惧	—	183
	スズメガヤ	(被子植物・イネ科)	—	—	185
	ウシノケグサ	(被子植物・イネ科)	—	—	186
	アオウシノケグサ	(被子植物・イネ科)	—	—	186
	ケカモノハシ	(被子植物・イネ科)	—	—	187
	カリヤスモドキ	(被子植物・イネ科)	—	—	190
	キダチノネズミガヤ	(被子植物・イネ科)	絶滅危惧ⅠB類	—	190
	チトセザサ	(被子植物・イネ科(タケ亜科))	絶滅危惧Ⅱ類	—	191
	ハコネナンブスズ	(被子植物・イネ科(タケ亜科))	—	—	191
	アイアシ	(被子植物・イネ科)	絶滅危惧Ⅱ類	—	192
	ハマヒエガエリ	(被子植物・イネ科)	—	—	193
	ワセオバナ	(被子植物・イネ科)	絶滅危惧ⅠB類	—	194
	アポイザサ	(被子植物・イネ科(タケ亜科))	—	—	194
	スナシバ	(被子植物・イネ科)	絶滅危惧Ⅱ類	—	196
	オニシバ	(被子植物・イネ科)	絶滅危惧Ⅱ類	—	196
	ヤマブキシソウ	(被子植物・ケシ科)	絶滅危惧Ⅱ類	—	197
	ルイヨウボタン	(被子植物・メギ科)	絶滅	—	198
	カワチブシ	(被子植物・キンポウゲ科)	—	—	198
	イヌハコネトリカブト	(被子植物・キンポウゲ科)	—	—	199
	フクジュソウ	(被子植物・キンポウゲ科)	絶滅危惧Ⅱ類	—	200
	オオバショウマ	(被子植物・キンポウゲ科)	—	—	201
	フジセンニンソウ	(被子植物・キンポウゲ科)	—	—	201
	カザグルマ	(被子植物・キンポウゲ科)	絶滅危惧ⅠB類	準絶滅危惧	202
	シギンカラマツ	(被子植物・キンポウゲ科)	絶滅危惧ⅠB類	—	206
	ヤシャビシャク	(被子植物・スグリ科)	絶滅危惧Ⅱ類	準絶滅危惧	208
	ヤブサンザシ	(被子植物・スグリ科)	絶滅危惧ⅠA類	—	208
	トリアシショウマ	(被子植物・ユキノシタ科)	絶滅危惧ⅠA類	—	209
	ツメレンゲ	(被子植物・ベンケイソウ科)	絶滅危惧ⅠA類	準絶滅危惧	213
	アズマツメクサ	(被子植物・ベンケイソウ科)	絶滅危惧ⅠA類	準絶滅危惧	214
	ノアズキ	(被子植物・マメ科)	—	—	216
イヌハギ	(被子植物・マメ科)	絶滅危惧ⅠB類	絶滅危惧Ⅱ類	218	
ミヤマタニワタシ	(被子植物・マメ科)	—	—	219	
オオダイコンソウ	(被子植物・バラ科)	—	—	222	
シウリザクラ	(被子植物・バラ科)	絶滅危惧ⅠB類	—	222	
ヒメヘビイチゴ	(被子植物・バラ科)	—	—	223	

2022 カテゴリー	和名 (科名等)	県RDB2006	環境省RL2020	掲載 ページ	
絶滅危惧Ⅱ類	ミツモトソウ	(被子植物・バラ科)	—	—	223
	ヒロハノカワラサイコ	(被子植物・バラ科)	絶滅危惧ⅠB類	絶滅危惧Ⅱ類	223
	ナンキンナナカマド	(被子植物・バラ科)	—	—	225
	クロカンバ	(被子植物・クロウメモドキ科)	—	—	227
	トキホコリ	(被子植物・イラクサ科)	絶滅危惧ⅠB類	絶滅危惧Ⅱ類	228
	イチイガシ	(被子植物・ブナ科)	—	—	230
	エゾアオイスミレ	(被子植物・スミレ科)	絶滅危惧ⅠB類	—	234
	サクラスミレ	(被子植物・スミレ科)	絶滅危惧ⅠB類	—	235
	フモトスミレ	(被子植物・スミレ科)	—	—	235
	ミツバフウロ	(被子植物・フウロソウ科)	絶滅危惧ⅠB類	—	239
	ヒシ	(被子植物・ミソハギ科)	絶滅危惧ⅠA類	—	240
	ウシタキソウ	(被子植物・アカバナ科)	絶滅危惧ⅠB類	—	241
	トダイアカバナ	(被子植物・アカバナ科)	絶滅危惧ⅠA類	絶滅危惧Ⅱ類	242
	ミズキンバイ	(被子植物・アカバナ科)	絶滅危惧ⅠB類	絶滅危惧Ⅱ類	242
	コガンピ	(被子植物・ジンチョウゲ科)	—	—	244
	サクラガンピ	(被子植物・ジンチョウゲ科)	絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅱ類	244
	ツクバネ	(被子植物・ビャクダン科)	—	—	247
	オオツルイタドリ	(被子植物・タデ科)	絶滅危惧ⅠA類	—	248
	オオネバリタデ	(被子植物・タデ科)	—	—	252
	アキノミチヤナギ	(被子植物・タデ科)	—	—	252
	ワチガイソウ	(被子植物・ナデシコ科)	—	—	254
	フシグロセンノウ	(被子植物・ナデシコ科)	—	—	255
	ホソバハマアカザ	(被子植物・ヒユ科)	—	—	256
	ヌマトラノオ	(被子植物・サクラソウ科)	—	—	258
	クサレダマ	(被子植物・サクラソウ科)	—	—	259
	コイワザクラ	(被子植物・サクラソウ科)	絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅱ類	260
	マルバノイチヤクソウ	(被子植物・ツツジ科)	—	—	261
	ハコネコメツツジ	(被子植物・ツツジ科)	絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅱ類	264
	ヤブムグラ	(被子植物・アカネ科)	絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅱ類	266
	ホソバノヨツバムグラ	(被子植物・アカネ科)	絶滅危惧Ⅱ類	—	267
	イナモリソウ	(被子植物・アカネ科)	絶滅危惧ⅠB類	—	267
	コケリンドウ	(被子植物・リンドウ科)	—	—	268
	ハナイカリ	(被子植物・リンドウ科)	—	—	268
	アイナエ	(被子植物・マチン科)	—	—	270
コイケマ	(被子植物・キョウチクトウ科)	—	—	271	
スズサイコ	(被子植物・キョウチクトウ科)	絶滅危惧ⅠB類	準絶滅危惧	273	
サウルリソウ	(被子植物・ムラサキ科)	絶滅危惧Ⅱ類	—	273	
ミズタビラコ	(被子植物・ムラサキ科)	絶滅危惧ⅠB類	—	275	
アオホオズキ	(被子植物・ナス科)	—	絶滅危惧Ⅱ類	276	

2022 カテゴリー	和名 (科名等)	県RDB2006	環境省RL2020	掲載 ページ	
絶滅危惧Ⅱ類	ミヤマアオダモ	(被子植物・モクセイ科)	絶滅危惧ⅠA類	—	276
	サウトウガラシ	(被子植物・オオバコ科)	絶滅	—	277
	シソクサ	(被子植物・オオバコ科)	絶滅危惧ⅠB類	—	277
	トウオオバコ	(被子植物・オオバコ科)	—	—	278
	イヌノフグリ	(被子植物・オオバコ科)	絶滅危惧ⅠB類	絶滅危惧Ⅱ類	279
	ヒナノウスツボ	(被子植物・ゴマノハグサ科)	—	—	280
	ラショウモンカズラ	(被子植物・シソ科)	—	—	287
	ヤマジソ	(被子植物・シソ科)	絶滅危惧ⅠA類	準絶滅危惧	287
	ミヤマタムラソウ	(被子植物・シソ科)	—	—	288
	ダンドタムラソウ	(被子植物・シソ科)	—	—	288
	ヒメナミキ	(被子植物・シソ科)	絶滅危惧Ⅱ類	—	289
	カリガネソウ	(被子植物・シソ科)	絶滅危惧ⅠA類	—	290
	シオガマギク	(被子植物・ハマウツボ科)	—	—	292
	ヒキヨモギ	(被子植物・ハマウツボ科)	—	—	292
	ハマシャジン	(被子植物・キキョウ科)	絶滅危惧ⅠB類	—	294
	ツルギキョウ	(被子植物・キキョウ科)	絶滅危惧ⅠA類	絶滅危惧Ⅱ類	294
	バアソブ	(被子植物・キキョウ科)	絶滅危惧ⅠA類	絶滅危惧Ⅱ類	295
	ヒナギキョウ	(被子植物・キキョウ科)	—	—	296
	ヌマダイコン	(被子植物・キク科)	—	—	298
	ヤマハハコ	(被子植物・キク科)	—	—	298
	カワラハハコ	(被子植物・キク科)	—	—	299
	ヤハズハハコ	(被子植物・キク科)	—	—	299
	アキワギク	(被子植物・キク科)	—	—	301
	ヨメナ	(被子植物・キク科)	—	—	301
	ヒレアザミ	(被子植物・キク科)	—	—	301
	ホソバガンクビソウ	(被子植物・キク科)	—	—	302
	シドキヤマアザミ	(被子植物・キク科)	—	—	304
	ハチオウジアザミ	(被子植物・キク科)	—	—	304
	ワダン	(被子植物・キク科)	—	—	305
	カセンソウ	(被子植物・キク科)	—	—	308
	ハマニガナ	(被子植物・キク科)	絶滅危惧Ⅱ類	—	309
	カワラニガナ	(被子植物・キク科)	絶滅危惧ⅠB類	準絶滅危惧	309
	コウモリソウ	(被子植物・キク科)	—	—	312
	ヤマタイミンガサ	(被子植物・キク科)	—	—	313
ミヤコアザミ	(被子植物・キク科)	絶滅危惧Ⅱ類	—	314	
キントキヒゴタイ	(被子植物・キク科)	—	—	314	
タカオヒゴタイ	(被子植物・キク科)	絶滅危惧Ⅱ類	—	315	
ハンゴンソウ	(被子植物・キク科)	—	—	316	
ハチジョウナ	(被子植物・キク科)	—	—	317	

2022 カテゴリ	和名 (科名等)	県RDB2006	環境省RL2020	掲載 ページ
絶滅危惧Ⅱ類	ベニバナノツクバネウツギ (被子植物・スイカズラ科)	—	—	320
	ナベナ (被子植物・スイカズラ科)	絶滅危惧Ⅱ類	—	320
	コウゲイスカグラ (被子植物・スイカズラ科)	—	—	321
	マツムシソウ (被子植物・スイカズラ科)	絶滅危惧ⅠB類	—	321
	イワセントウソウ (被子植物・セリ科)	—	—	325
	ヒカゲミツバ (被子植物・セリ科)	絶滅危惧ⅠB類	—	326

◆準絶滅危惧 (NT) : 存続基盤が弱い種 (66種)

2022 カテゴリ	和名 (科名等)	県RDB2006	環境省RL2020	掲載 ページ
準絶滅危惧	シチトウハナワラビ (シダ植物・ハナヤスリ科)	絶滅危惧Ⅱ類	—	60
	ウスイハナワラビ (シダ植物・ハナヤスリ科)	絶滅危惧Ⅱ類	—	61
	コヒロハハナヤスリ (シダ植物・ハナヤスリ科)	準絶滅危惧	—	62
	マツバラシ (シダ植物・マツバラシ科)	絶滅危惧Ⅱ類	準絶滅危惧	62
	ヒメコケシノブ (シダ植物・コケシノブ科)	絶滅危惧Ⅱ類	—	63
	オオキジノオ (シダ植物・キジノオシダ科)	絶滅危惧Ⅱ類	—	66
	キジノオシダ (シダ植物・キジノオシダ科)	準絶滅危惧	—	67
	ヒメミズワラビ (シダ植物・イノモトソウ科)	準絶滅危惧	—	69
	コタニワタリ (シダ植物・チャセンシダ科)	絶滅危惧ⅠA類	—	74
	オサシダ (シダ植物・シシガシラ科)	—	—	78
	タニイヌワラビ (シダ植物・メシダ科)	絶滅危惧Ⅱ類	—	81
	ナンタイシダ (シダ植物・オシダ科)	—	—	90
	イヌイワイタチシダ (シダ植物・オシダ科)	絶滅危惧ⅠB類	—	91
	カラクサシダ (シダ植物・ウラボシ科)	絶滅危惧Ⅱ類	—	96
	ネズミサシ (裸子植物・ヒノキ科)	絶滅危惧ⅠA類	—	99
	ズソウカンアオイ (被子植物・ウマノスズクサ科)	—	準絶滅危惧	101
	サガミトリゲモ (被子植物・トチカガミ科)	絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅱ類	108
	イトトリゲモ (被子植物・トチカガミ科)	絶滅危惧Ⅱ類	準絶滅危惧	109
	センニンモ (被子植物・ヒルムシロ科)	絶滅危惧Ⅱ類	—	113
	ササバモ (被子植物・ヒルムシロ科)	絶滅危惧Ⅱ類	—	115
	タマガワホトトギス (被子植物・ユリ科)	—	—	121
	アマナ (被子植物・ユリ科)	絶滅危惧Ⅱ類	—	121
	シラン (被子植物・ラン科)	絶滅危惧ⅠB類	準絶滅危惧	121
	エビネ (被子植物・ラン科)	絶滅危惧Ⅱ類	準絶滅危惧	122
	キンラン (被子植物・ラン科)	絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅱ類	123
	サガミラン (被子植物・ラン科)	絶滅危惧Ⅱ類	—	124
	ベニシュスラン (被子植物・ラン科)	絶滅危惧ⅠB類	—	130
	トサノクロムヨウラン (被子植物・ラン科)	絶滅危惧Ⅱ類	—	134
	カヤラン (被子植物・ラン科)	絶滅危惧Ⅱ類	—	146
	ユキザサ (被子植物・キジカクシ科(クサギカスラ科))	—	—	152

2022 カテゴリ	和名 (科名等)	県RDB2006	環境省RL2020	掲載 ページ	
準絶滅危惧	ヤマアマドコロ	(被子植物・キンカシ科(カシガサ科))	—	—	153
	ミクリ	(被子植物・ガマ科)	絶滅危惧Ⅱ類	準絶滅危惧	153
	ヒロハノイヌノヒゲ	(被子植物・ホシクサ科)	—	—	155
	クロカワズスゲ	(被子植物・カヤツリグサ科)	絶滅危惧Ⅱ類	—	159
	シオクグ	(被子植物・カヤツリグサ科)	準絶滅危惧	—	168
	オオハリイ	(被子植物・カヤツリグサ科)	—	—	174
	シカクイ	(被子植物・カヤツリグサ科)	—	—	175
	ホッサガヤ	(被子植物・イネ科)	—	—	184
	キタメヒシバ	(被子植物・イネ科)	—	—	185
	ハイチゴザサ	(被子植物・イネ科)	絶滅危惧Ⅱ類	—	187
	セイタカヨシ	(被子植物・イネ科)	絶滅危惧ⅠB類	—	193
	ヤマエンゴサク	(被子植物・ケシ科)	—	—	197
	アズマイチゲ	(被子植物・キンポウゲ科)	準絶滅危惧	—	200
	ハコネシロカネソウ	(被子植物・キンポウゲ科)	準絶滅危惧	準絶滅危惧	203
	ヤグルマソウ	(被子植物・ユキノシタ科)	—	—	210
	エドヒガン	(被子植物・バラ科)	—	—	221
	クロイチゴ	(被子植物・バラ科)	—	—	224
	ミヤマニガイチゴ	(被子植物・バラ科)	—	—	225
	ハコネグミ	(被子植物・グミ科)	絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅱ類	226
	ヨコグラノキ	(被子植物・クロウメモドキ科)	絶滅危惧ⅠB類	—	226
	ゴキツル	(被子植物・ウリ科)	絶滅危惧ⅠB類	—	232
	ヒカゲスミレ	(被子植物・スミレ科)	—	—	236
	ミズマツバ	(被子植物・ミソハギ科)	絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅱ類	240
	マツグミ	(被子植物・オオバヤドリギ科)	絶滅危惧ⅠB類	—	247
	ヤナギイノコヅチ	(被子植物・ヒユ科)	準絶滅危惧	—	255
	ウメウツギ	(被子植物・アジサイ科)	絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅱ類	257
	シャクジョウソウ	(被子植物・ツツジ科)	絶滅危惧ⅠA類	—	261
	ナツハゼ	(被子植物・ツツジ科)	絶滅危惧Ⅱ類	—	265
	ヤマホオズキ	(被子植物・ナス科)	絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧ⅠB類	275
	ハシリドコロ	(被子植物・ナス科)	—	—	276
	ミウライボタ	(被子植物・モクセイ科)	—	—	277
	キクモ	(被子植物・オオバコ科)	—	—	278
	ジャコウソウ	(被子植物・シソ科)	—	—	283
	オグルマ	(被子植物・キク科)	—	—	307
ノニガナ	(被子植物・キク科)	絶滅	—	308	
キオン	(被子植物・キク科)	—	—	316	

◆情報不足（DD）：評価するだけの情報が不足している種（9種）

2022 カテゴリ	和名 （科名等）	県RDB2006	環境省RL2020	掲載 ページ
情報不足	イワイヌワラビ (シダ植物・メシダ科)	—	—	80
	エダウチゼキショウ (被子植物・チシマゼキショウ科)	—	—	104
	イチョウバイカモ (被子植物・キンポウゲ科)	—	—	205
	スルガヒメユズリハ (被子植物・ユズリハ科)	—	—	207
	ツブラジイ (被子植物・ブナ科)	—	—	230
	タニガワハンノキ (被子植物・カバノキ科)	絶滅危惧ⅠB類	—	231
	タチハコベ (被子植物・ナデシコ科)	—	絶滅危惧Ⅱ類	254
	クサタチバナ (被子植物・キョウチクトウ科)	絶滅	準絶滅危惧	272
	ミヤマトウバナ (被子植物・シソ科)	情報不足	—	284

コケ植物

◆絶滅 (EX) : 神奈川県ではすでに絶滅したと考えられる種 (2種)

2022 カテゴリ	和名 (科名等)	県RDB2006	環境省RL2020	掲載 ページ
絶滅	イブキキンモウゴケ (蘚類・タチヒダゴケ科)	情報不足	絶滅危惧Ⅱ類	352
	キノボリツノゴケ (ツノゴケ類・キノボリツノゴケ科)	絶滅危惧Ⅰ類	絶滅危惧Ⅰ類	360

◆絶滅危惧Ⅰ類 (CR+EN) : 絶滅の危機に瀕している種 (18種)

2022 カテゴリ	和名 (科名等)	県RDB2006	環境省RL2020	掲載 ページ
絶滅危惧Ⅰ類	チチブイチョウゴケ (苔類・チチブイチョウゴケ科)	絶滅危惧Ⅰ類	絶滅危惧Ⅱ類	336
	ノグチサキジロゴケ (苔類・ミゾゴケ科)	絶滅危惧Ⅰ類	—	337
	イワツキヤスデゴケ (苔類・ヤスデゴケ科)	絶滅危惧Ⅰ類	—	338
	ヤマトサンカクゴケ (苔類・クサリゴケ科)	絶滅危惧Ⅰ類	—	340
	ハリスギゴケ (蘚類・スギゴケ科)	絶滅危惧Ⅰ類	—	343
	カシミールクマノゴケ (蘚類・イクビゴケ科)	絶滅危惧Ⅰ類	絶滅危惧Ⅱ類	343
	コバノイクビゴケ (蘚類・イクビゴケ科)	—	絶滅危惧Ⅰ類	344
	ツクシツバナゴケ (蘚類・ギボウシゴケ科)	絶滅危惧Ⅰ類	—	345
	アオゴケ (蘚類・キンシゴケ科)	絶滅危惧Ⅰ類	—	346
	ヒカリゴケ (蘚類・ヒカリゴケ科)	絶滅危惧Ⅰ類	準絶滅危惧	346
	ナミガタチョウチンゴケ (蘚類・チョウチンゴケ科)	絶滅危惧Ⅰ類	—	351
	モミゴケ (蘚類・タチヒダゴケ科)	絶滅危惧Ⅰ類	—	352
	カメゴケモドキ (蘚類・タチヒダゴケ科)	絶滅危惧Ⅰ類	絶滅危惧Ⅱ類	352
	ツガゴケ (蘚類・ホソバツガゴケ科)	絶滅危惧Ⅰ類	—	353
	ソリシダレゴケ (蘚類・ハイヒモゴケ科)	絶滅危惧Ⅰ類	—	355
	ハイヒモゴケ (蘚類・ハイヒモゴケ科)	絶滅危惧Ⅰ類	—	355
	オオミミゴケ (蘚類・イワダレゴケ科)	絶滅危惧Ⅰ類	—	357
	フクラゴケ (蘚類・ナワゴケ科)	絶滅危惧Ⅰ類	—	359

◆絶滅危惧Ⅱ類 (VU) : 絶滅の危険が増大している種 (29種)

2022 カテゴリ	和名 (科名等)	県RDB2006	環境省RL2020	掲載 ページ
絶滅危惧Ⅱ類	アツバサイハイゴケ (苔類・ジンガサゴケ科)	絶滅危惧Ⅱ類	—	333
	ヒトデゼニゴケ (苔類・ゼニゴケ科)	絶滅危惧Ⅱ類	—	333
	ミヤマミズゼニゴケ (苔類・ミヤマミズゼニゴケ科)	絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅱ類	334
	ニシムラヤバナゴケ (苔類・カサナリゴケ科)	絶滅危惧Ⅰ類	—	337
	ホリカワツボミゴケ (苔類・ソロイゴケ科)	絶滅危惧Ⅱ類	—	337
	チチブハネゴケ (苔類・ハネゴケ科)	絶滅危惧Ⅰ類	—	338
	ヨウジョウゴケ (苔類・クサリゴケ科)	絶滅危惧Ⅰ類	準絶滅危惧	340
	カビゴケ (苔類・クサリゴケ科)	—	準絶滅危惧	341
	オオミズゴケ (蘚類・ミズゴケ科)	絶滅危惧Ⅰ類	準絶滅危惧	342
	クロゴケ (蘚類・クロゴケ科)	絶滅危惧Ⅰ類	—	342
	フウリンゴケ (蘚類・スギゴケ科)	絶滅危惧Ⅱ類	—	343

2022 カテゴリ	和名 (科名等)	県RDB2006	環境省RL2020	掲載 ページ
絶滅危惧Ⅱ類	クマノゴケ (蘚類・イクビゴケ科)	絶滅危惧Ⅰ類	準絶滅危惧	344
	ジョウレンホウオウゴケ (蘚類・ホウオウゴケ科)	絶滅危惧Ⅰ類	絶滅危惧Ⅱ類	346
	チャボサヤゴケ (蘚類・ヤスジゴケ科)	絶滅危惧Ⅰ類	—	347
	マユハケゴケ (蘚類・シラガゴケ科)	絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅱ類	347
	カタシロゴケ (蘚類・カタシロゴケ科)	絶滅危惧Ⅰ類	—	348
	ダンダンゴケ (蘚類・センボンゴケ科)	絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅱ類	348
	フガゴケ (蘚類・センボンゴケ科)	絶滅危惧Ⅰ類	絶滅危惧Ⅱ類	349
	サジバオウゴンゴケ (蘚類・センボンゴケ科)	絶滅危惧Ⅰ類	—	349
	カサゴケモドキ (蘚類・ハリガネゴケ科)	絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅱ類	350
	ヤマトチョウチンゴケ (蘚類・チョウチンゴケ科)	絶滅危惧Ⅰ類	—	351
	テヅカチョウチンゴケ (蘚類・チョウチンゴケ科)	絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅱ類	351
	コキジノオゴケ (蘚類・クジャクゴケ科)	絶滅危惧Ⅰ類	準絶滅危惧	353
	コハイヒモゴケ (蘚類・ハイヒモゴケ科)	絶滅危惧Ⅰ類	—	355
	イトゴケ (蘚類・ハイヒモゴケ科)	絶滅危惧Ⅰ類	—	356
	タカサゴサガリゴケ (蘚類・ハイヒモゴケ科)	絶滅危惧Ⅰ類	—	356
	ヒロハシノブイトゴケ (蘚類・ハイヒモゴケ科)	絶滅危惧Ⅰ類	準絶滅危惧	356
	オオミツヤゴケ (蘚類・ツヤゴケ科)	絶滅危惧Ⅰ類	絶滅危惧Ⅱ類	357
オオタマコモチイトゴケ (蘚類・コモチイトゴケ科)	絶滅危惧Ⅰ類	絶滅危惧Ⅱ類	358	

◆準絶滅危惧 (NT) : 存続基盤がぜい弱な種 (11種)

2022 カテゴリ	和名 (科名等)	県RDB2006	環境省RL2020	掲載 ページ
準絶滅危惧	イチョウウキゴケ (苔類・ウキゴケ科)	絶滅危惧Ⅱ類	準絶滅危惧	333
	シフネルゴケ (苔類・ヤバネゴケ科)	絶滅危惧Ⅰ類	—	335
	オオシタバケビラゴケ (苔類・ケビラゴケ科)	絶滅危惧Ⅱ類	—	342
	ヤマトハクチョウゴケ (蘚類・チヂレゴケ科)	準絶滅危惧	絶滅危惧Ⅱ類	345
	アナシッポゴケモドキ (蘚類・センボンゴケ科)	情報不足	—	349
	フロウソウ (蘚類・コウヤノマンネングサ科)	注目種	—	353
	フジノマンネングサ (蘚類・コウヤノマンネングサ科)	注目種	—	354
	キヨスミイトゴケ (蘚類・ハイヒモゴケ科)	絶滅危惧Ⅱ類	—	354
	ツルゴケ (蘚類・イトヒバゴケ科)	準絶滅危惧	—	358
	シタゴケ (蘚類・ヒラゴケ科)	絶滅危惧Ⅱ類	—	358
	コメリンスゴケ (蘚類・ヒラゴケ科)	絶滅危惧Ⅱ類	—	359

◆情報不足 (DD) : 評価するだけの情報が不足している種 (24種)

2022 カテゴリ	和名 (科名等)	県RDB2006	環境省RL2020	掲載 ページ
情報不足	クモノスゴケモドキ (苔類・クモノスゴケ科)	情報不足	—	334
	アイバゴケ (苔類・アミバゴケ科)	情報不足	—	334
	トゲアイバゴケ (苔類・アミバゴケ科)	—	—	335

2022 カテゴリ	和名 (科名等)	県RDB2006	環境省RL2020	掲載 ページ
情報不足	イチョウゴケ (苔類・タカネイチョウゴケ科)	情報不足	—	335
	オヤコゴケ (苔類・ヒシヤクゴケ科)	情報不足	—	336
	エゾヒメヤバネゴケ (苔類・カサナリゴケ科)	情報不足	—	336
	ヤマトムチゴケ (苔類・ムチゴケ科)	情報不足	—	338
	ミヤジマヒメゴヘイゴケ (苔類・クサリゴケ科)	情報不足	—	339
	イボケクサリゴケ (苔類・クサリゴケ科)	絶滅危惧Ⅰ類	—	339
	カミムラヒメクサリゴケ (苔類・クサリゴケ科)	—	—	339
	ナカジマヒメクサリゴケ (苔類・クサリゴケ科)	—	—	340
	ナンヨウサンカクゴケ (苔類・クサリゴケ科)	情報不足	—	341
	カギゴケ (苔類・クサリゴケ科)	情報不足	—	341
	ヒメイクビゴケ (蘚類・イクビゴケ科)	—	—	344
	ハクチョウゴケ (蘚類・チヂレゴケ科)	情報不足	—	345
	ヤマトマイマイゴケ (蘚類・シッポゴケ科)	情報不足	—	347
	ハナシアカハマキゴケ (蘚類・センボンゴケ科)	情報不足	—	348
	ニセホソバトジクチゴケ (蘚類・センボンゴケ科)	—	—	350
	ヤスダゴケ (蘚類・ハリガネゴケ科)	絶滅危惧Ⅰ類	準絶滅危惧	350
	スギバシノブゴケ (蘚類・ヌマシノブゴケ科)	情報不足	絶滅危惧Ⅱ類	354
	オオヒラツボゴケ (蘚類・ハイゴケ科)	情報不足	—	357
	タチヒラゴケ (蘚類・ヒラゴケ科)	情報不足	—	359
	キノクニキヌタゴケ (蘚類・ナワゴケ科)	情報不足	—	360
ミヤベツノゴケ (ツノゴケ類・ツノゴケ科)	情報不足	—	360	

藻類

◆絶滅（EX）：神奈川県ではすでに絶滅したと考えられる種（2種）

2022年コリ	和名（科名等）	県RDB2006	環境省RL2020	掲載ページ
絶滅	ハコネシャジクモ（車軸藻綱・シャジクモ科）		絶滅	374
	ホシツリモ（車軸藻綱・シャジクモ科）		絶滅危惧Ⅰ類	377

◆絶滅危惧Ⅰ類（CR+EN）：絶滅の危機に瀕している種（10種）

2022年コリ	和名（科名等）	県RDB2006	環境省RL2020	掲載ページ
絶滅危惧Ⅰ類	カワモズク（真正紅藻綱・カワモズク科）		絶滅危惧Ⅱ類	368
	ニホンカワモズク（真正紅藻綱・カワモズク科）		絶滅危惧Ⅱ類	368
	イズミイシノカワ（褐藻綱・ニセイシノカワ科）		絶滅危惧Ⅰ類	370
	カワノリ（トレボウクシア藻綱・カワノリ科）		絶滅危惧Ⅱ類	370
	カタシャジクモ（車軸藻綱・シャジクモ科）		絶滅危惧Ⅰ類	374
	ヒメフラスコモ（車軸藻綱・シャジクモ科）		絶滅危惧Ⅰ類	375
	カワモズクフラスコモ（車軸藻綱・シャジクモ科）		絶滅危惧Ⅰ類	375
	オオバホンフサフラスコモ（車軸藻綱・シャジクモ科）		絶滅危惧Ⅰ類	375
	キヌフラスコモ（車軸藻綱・シャジクモ科）		絶滅危惧Ⅰ類	376
	オトメフラスコモ（車軸藻綱・シャジクモ科）		絶滅危惧Ⅰ類	376

◆絶滅危惧Ⅱ類（VU）：絶滅の危険が増大している種（1種）

2022年コリ	和名（科名等）	県RDB2006	環境省RL2020	掲載ページ
Ⅱ類	アオカワモズク（真正紅藻綱・カワモズク科）		準絶滅危惧	369

◆準絶滅危惧（NT）：存続基盤が弱い種（3種）

2022年コリ	和名（科名等）	県RDB2006	環境省RL2020	掲載ページ
準絶滅危惧	オオイシソウ（オオイシソウ綱・オオイシソウ科）		絶滅危惧Ⅱ類	368
	チャイロカワモズク（真正紅藻綱・カワモズク科）		準絶滅危惧	369
	タンスイベニマダラ（真正紅藻綱・ベニマダラ科）		準絶滅危惧	369

◆情報不足（DD）：評価するだけの情報が不足している種（1種）

2022年コリ	和名（科名等）	県RDB2006	環境省RL2020	掲載ページ
情報不足	レンリフラスコモ（車軸藻綱・シャジクモ科）		—	376

◆注目種：環境省の категорияには判定されないが、生育環境や生態的特徴等により注目に値する種（1種）

2022年コリ	和名（科名等）	県RDB2006	環境省RL2020	掲載ページ
注目種	シャジクモ（車軸藻綱・シャジクモ科）		絶滅危惧Ⅱ類	374

菌類 *和名が無い種は、学名のカタカナ読みを表記した。

◆絶滅危惧Ⅰ類（CR+EN）：絶滅の危機に瀕している種（27種）

2022 カテゴリー	和名 （科名等）	県RDB2006	環境省RL2020	掲載 ページ
絶滅危惧Ⅰ類	ホンシメジ (菌類・シメジ科)	絶滅危惧Ⅱ類	—	387
	バカマツタケ (菌類・キシメジ科)	絶滅危惧Ⅱ類	準絶滅危惧	390
	トゲミフチドリツエタケ (菌類・タマパリタケ科)	—	—	391
	ドングリタケ属 (菌類・ハラタケ科)	—	—	392
	ケシボウズタケ属 (菌類・ハラタケ科)	絶滅危惧ⅠA類	—	392
	ハイカグラテングタケ (菌類・テングタケ科)	—	—	394
	ミヤマホシミノタマタケ (菌類・イグチ科)	—	—	397
	タマノリイグチ (菌類・イグチ科)	絶滅危惧Ⅱ類	—	398
	ラッコタケ (菌類・タバコウロコタケ科)	絶滅危惧ⅠA類	—	399
	ナンバンオオカワウソタケ (菌類・タバコウロコタケ科)	準絶滅危惧	絶滅危惧Ⅱ類	399
	オニカワウソタケ (菌類・タバコウロコタケ科)	—	—	400
	ツヤナシマンネンタケ (菌類・タバコウロコタケ科)	絶滅危惧ⅠA類	—	400
	テンガイカブリ (菌類・アミガサタケ科)	準絶滅危惧	—	406
	ウスキセイヨウショウロ (菌類・セイヨウショウロ科)	—	—	407
	コゴメカマキリムシタケ (菌類・ノムシタケ科)	絶滅危惧ⅠA類	絶滅危惧Ⅰ類	408
	カワラゴケ (地衣類・カワラゴケ科)	—	—	414
	チヂレバカワラゴケ (地衣類・カワラゴケ科)	絶滅危惧ⅠA類	—	414
	ニセトゲヨロイゴケ (地衣類・カブトゴケ科)	—	—	414
	オオアワビゴケ (地衣類・ウメノキゴケ科)	絶滅危惧ⅠA類	—	415
	ツノマタゴケモドキ (地衣類・ウメノキゴケ科)	絶滅危惧ⅠA類	—	415
	ジンムジサラゴケ (地衣類・サラゴケ科)	絶滅危惧ⅠA類	—	415
	イコマゴンゲンゴケモドキ (地衣類・ウメノキゴケ科)	—	—	416
	ヘリトリツメゴケ (地衣類・ツメゴケ科)	絶滅危惧ⅠA類	—	416
	ウスバトコブシゴケ (地衣類・ウメノキゴケ科)	絶滅危惧ⅠA類	—	416
	ニセキンブチゴケ (地衣類・カブトゴケ科)	絶滅危惧ⅠA類	—	417
	コウヤクゴケ (地衣類・カブトゴケ科)	—	—	417
	サルオガセ属 (地衣類・ウメノキゴケ科)	絶滅危惧ⅠA類	—	417

◆絶滅危惧Ⅱ類（VU）：絶滅の危険が増大している種（31種）

2022 カテゴリー	和名 （科名等）	県RDB2006	環境省RL2020	掲載 ページ
絶滅危惧Ⅱ類	キヒダサカズキタケ (菌類・ホウライタケ科)	準絶滅危惧	—	388
	スナジホウライタケ (菌類・ツキヨタケ科)	絶滅危惧ⅠA類	—	390
	アカヒダカラカサタケ (菌類・ハラタケ科)	—	—	391
	カブラマツタケ (菌類・カブラマツタケ科)	準絶滅危惧	—	391
	キワタゲテングタケ (菌類・テングタケ科)	準絶滅危惧	—	393
	ナメコ (菌類・モエギタケ科)	準絶滅危惧	—	394
	シンネマトミケス・キャピタートゥス* (菌類・所属科未確定)	準絶滅危惧	—	395

2022 カテゴリ	和名 (科名等)	県RDB2006	環境省RL2020	掲載 ページ
絶滅危惧Ⅱ類	ヒロウラベニイロガワリ (菌類・イグチ科)	準絶滅危惧	—	396
	チャイボホシミノタマタケ (菌類・イグチ科)	—	—	397
	タブノキキハダカビ (菌類・ボトリオバシディウム科)	絶滅危惧ⅠA類	絶滅危惧Ⅱ類	398
	マクラタケ (菌類・タバコウロコタケ科)	準絶滅危惧	—	400
	ムサシタケ (菌類・タバコウロコタケ科)	絶滅危惧ⅠA類	—	401
	コガネカワラタケ (菌類・タマチョレイタケ科)	準絶滅危惧	—	401
	フルイタケ (菌類・タマチョレイタケ科)	準絶滅危惧	—	402
	ルリハツタケ (菌類・ベニタケ科)	準絶滅危惧	—	403
	ハツタケ (菌類・ベニタケ科)	—	—	403
	モルガンツチガキ (菌類・ヒメツチグリ科)	—	—	403
	アカイカタケ (菌類・アカカゴタケ科)	準絶滅危惧	—	404
	クチキトサカタケ (菌類・ビョウタケ科)	絶滅危惧Ⅱ類	—	405
	ゴンゲンタケ (菌類・ホテイタケ科)	準絶滅危惧	—	406
	オオミノミミブサタケ (菌類・ベニチャワンタケ科)	準絶滅危惧	—	407
	コフキクロチャワンタケ (菌類・クロチャワンタケ科)	—	—	407
	ハチスタケ (菌類・クロサイワイタケ科)	準絶滅危惧	—	410
	ブナノホソツクシタケ (菌類・クロサイワイタケ科)	準絶滅危惧	—	411
	カプトゴケ属 (地衣類・カプトゴケ科)	絶滅危惧ⅠA類	—	418
	ハマカラタチゴケ (地衣類・カラタチゴケ科)	—	—	418
	トゲヒメゲジゲジゴケ (地衣類・ムカデゴケ科)	絶滅危惧Ⅱ類	—	418
	アンチゴケ属 (地衣類・ウメノキゴケ科)	絶滅危惧Ⅱ類	—	419
	フォーリザクロゴケ (地衣類・ザクロゴケ科)	絶滅危惧Ⅱ類	—	419
テツイロハナビラゴケ (地衣類・ハナビラゴケ科)	絶滅危惧Ⅱ類	—	419	
ハクフンゴケ (地衣類・ムカデゴケ科)	絶滅危惧Ⅱ類	—	420	

◆準絶滅危惧 (NT) : 存続基盤がぜい弱な種 (31種)

2022 カテゴリ	和名 (科名等)	県RDB2006	環境省RL2020	掲載 ページ
準絶滅危惧	ワダンさび病菌 (菌類・ブクシニア科)	準絶滅危惧	—	385
	ヒノキ・アスナロ・クロベ天狗巣病菌 (菌類・ミクロゲネリア科)	準絶滅危惧	—	385
	ヤブニッケイ黒穂病菌 (菌類・メラノブシキウム科)	準絶滅危惧	—	386
	カンゾウタケ (菌類・カンゾウタケ科)	—	—	387
	ハルノウラベニタケ (菌類・イッポンシメジ科)	—	—	387
	アミガサハウライタケ (菌類・ハウライタケ科)	—	—	388
	ミタケウスキブナノミタケ (菌類・クヌギタケ科)	絶滅危惧Ⅱ類	—	389
	トサカオチエダタケ (菌類・クヌギタケ科)	—	—	389
	タマノウタケ (菌類・ハラタケ科)	準絶滅危惧	—	392
	アオミドリタマゴテングタケ (菌類・テングタケ科)	準絶滅危惧	—	393
	ヒメムサシタケ属 (菌類・フウセンタケ科)	準絶滅危惧	—	394
	フジイロアマタケ (菌類・フウリシタケ科)	準絶滅危惧	—	395

2022 カテゴリ	和名 (科名等)	県RDB2006	環境省RL2020	掲載 ページ
準絶滅危惧	アシナガイグチ (菌類・イグチ科)	準絶滅危惧	—	396
	クロムラサキニガイグチ (菌類・イグチ科)	—	—	396
	サビハチノスタケ (菌類・タマショレイタケ科)	準絶滅危惧	—	401
	エビタケ (菌類・タマショレイタケ科)	絶滅危惧 I A類	—	402
	アカハチノスタケ (菌類・タマショレイタケ科)	準絶滅危惧	—	402
	ムカシオオミダレタケ (菌類・アポルピウム科)	絶滅危惧 II 類	—	404
	マユハキタケ (菌類・マユハキタケ科)	準絶滅危惧	—	405
	クリノイガワンタケ (菌類・トウヒキンカクキン科)	準絶滅危惧	—	405
	ウツロイモタケ (菌類・ピロネマキン科)	準絶滅危惧	—	406
	イトヒキミジンアリタケ (菌類・ノムシタケ科)	準絶滅危惧	—	409
	コウモリカズラうどんこ病菌 (菌類・ウドンコカビ科)	準絶滅危惧	—	413
	ツブカワキノリ (地衣類・イワノリ科)	—	—	420
	イソカラタチゴケ (地衣類・カラタチゴケ科)	—	—	420
	スクレロキスティス・コレミオイデス* (菌類・グロムス科)	準絶滅危惧	—	421
	スポロディニエラ・ウンペラータ* (菌類・ケカビ科)	準絶滅危惧	—	422
	トムライカビ (菌類・ヘリコケファルム科)	準絶滅危惧	—	422
	ネットイホネホコリ (変形菌類・カタホコリ科)	準絶滅危惧	—	424
	シシガシラホコリ (変形菌類・カタホコリ科)	準絶滅危惧	—	424
	メダマホコリ (変形菌類・ムラサキホコリ科)	準絶滅危惧	—	425

◆情報不足 (DD) : 評価するだけの情報が不足している種 (19 種)

2022 カテゴリ	和名 (科名等)	県RDB2006	環境省RL2020	掲載 ページ
情報不足	キクモンクヌギタケ (菌類・クヌギタケ科)	—	—	388
	イズミノアシナガタケ (菌類・クヌギタケ科)	—	—	389
	マツタケ (菌類・キシメジ科)	絶滅	準絶滅危惧	390
	コゲチャベニヒダタケ (菌類・ウラベニガサ科)	—	—	393
	ヤナギノアカコウヤクタケ (菌類・コウヤクタケ科)	—	—	399
	セリノミケス・パリドウス近縁種* (菌類・ケリノミケス科)	準絶滅危惧	—	404
	ベニイモムシタケ (菌類・ノムシタケ科)	準絶滅危惧	—	408
	カイガラムシツブタケ (菌類・オフィオコルディセプス科)	絶滅危惧 I A類	絶滅危惧 II 類	410
	オフィオネクトリア・ヒダカエアナ* (菌類・ネクトリア科)	準絶滅危惧 /情報不足	—	410
	カブノフィアロフォラ属の一種* (菌類・メタカブノディウム科)	準絶滅危惧 /情報不足	—	411
	ヒダカエアナ・ツミデュラ* (菌類・ミクロチリウム科)	準絶滅危惧 /情報不足	—	411
	シログロニウム・サシコラ* (菌類・モジカビ科)	準絶滅危惧 /情報不足	—	412
	ヒドラエオミケス・ハリプリ* (菌類・ラブルベニア科)	絶滅/情報不足	—	412
	ラブルベニア・ボレアリス* (菌類・ラブルベニア科)	絶滅/情報不足	—	412
	ラブルベニア・ブラキオニキ* (菌類・ラブルベニア科)	絶滅/情報不足	—	413
	リッキア・テッセルラタ* (菌類・ラブルベニア科)	準絶滅危惧 /情報不足	—	413

2022 カテゴリ	和名 (科名等)	県RDB2006	環境省RL2020	掲載 ページ
情報 不足	ニセゴンゲンゴケ (地衣類・ウメノキゴケ科)	—	—	421
	ジゴリンクス・ジャポニクス* (菌類・ケカビ科)	野生絶滅 /情報不足	—	422
	ミカドホネホコリ (変形菌類・カタホコリ科)	絶滅/情報不足	—	424

◆注目種：環境省のカテゴリーには判定されないが、生育環境や生態的特徴等により注目に値する種（14種）

2022 カテゴリ	和名 (科名等)	県RDB2006	環境省RL2020	掲載 ページ
注目 種	ツユクサ白斑病菌 (菌類・ブラキバシディウム科)	準絶滅危惧	—	385
	ムキタケ (菌類・ガマノホタケ科)	—	—	386
	オソムキタケ (菌類・ガマノホタケ科)	—	—	386
	ケコガサタケ属の一種 (菌類・ヒメノガステル科)	—	—	395
	ジャガイモタケ (菌類・イグチ科)	準絶滅危惧	—	397
	ショウロ (菌類・ショウロ科)	絶滅危惧II類	—	398
	キチャセイヨウショウロ (菌類・セイヨウショウロ科)	—	—	408
	ツチカメムシタケ (菌類・ノムシタケ科)	—	—	409
	オサムシタンポタケ (菌類・オフィオコルディセプス科)	絶滅危惧 IA 類	—	409
	グロムス・ベルシフォルメ近縁種* (菌類・グロムス科)	—	—	421
	シムリオミクス・ミクロスポルス* (菌類・レゲリオミクス科)	—	—	423
	ペンネラ・アングスティスポラ* (菌類・レゲリオミクス科)	—	—	423
	オルフェラ・ハイシイ* (菌類・オルフェラ科)	絶滅危惧II類	—	423
	マガイモジホコリ近縁種 (変形菌類・モジホコリ科)	—	—	425

5 選定種の解説項目と内容

選定種（維管束植物 809 種、コケ植物 84 種、藻類 18 種、菌類 122 種）について、種ごとに、判定理由や生育環境・生態、現状などを解説した。

種ごとの解説における種の並び順は、最新の分類体系に基づいている。記述内容は、次のとおりである。

<選定種の解説>

① ヒカゲノカズラ科

③ 絶滅危惧 I B 類			
②	ヒメスギラン	④ 神奈川県	2006 絶滅危惧 I B 類
	<i>Huperzia miyoshiana</i> (Makino) Ching		1995 希少種
		⑤ 環境省	2020 —
⑥	【判定理由】 『神植誌18』の調査では 3 か所(2 調査区、3 個の 3 次メッシュ)から標本が採集され、そのうち 1 か所から複数個体が発見されたため絶滅危惧 I B 類と判定した。	【国内分布】 北海道、本州、四国、九州(屋久島まで)	
	【生育環境・生態】 山地の樹林内の岩上または樹幹に生育する多年草	【県内分布】 箱根-4●・箱根-5●	【存続を脅かす要因】 産地局限
	【現状】 箱根二子山の低木林内、および過去に記録のあった場所で数個体が確認されている。	【特記事項】 ・保護の現状: 国立公園の特別保護地区、立入禁止区域の柵内	

① 科名：種の科名

② 種名：種の和名及び学名

③ 2022 カテゴリー区分：今回県が評価した結果のランク

④ 過去のカテゴリー区分：1995 年、2006 年の県レッドデータブックのランク

⑤ 環境省カテゴリー区分：環境省レッドリスト 2020 のランク

⑥ 各解説項目

【判定理由】：選定・評価した理由

【生育環境・生態】：種の一般的な生育環境及び生態

【現状】：県内における種の現状

【国内分布】：日本国内の分布状況

【県内分布】：現地調査及び文献調査等で判明した、県内の分布状況

※ 維管束植物のみ、各分布（調査区単位）の右に、最新の標本採集年を示す記号を付記した。新しいものから順に、●、◎、○、△。詳細は、P54 の凡例を参照。

【存続を脅かす要因】：種の存続を脅かす要因

【特記事項】：保護の現状、標本の情報など上記以外に記すべき内容

【文献等】：解説執筆に当たり特に参考とした文献等

6 執筆者一覧 ※敬称略/50音順

「Ⅱ選定種の解説」は、神奈川県レッドリスト選定・評価委員会及び同植物・菌類部会の評価結果に沿って、各執筆者が基礎データを基に原稿を執筆した。

維管束植物

- 秋山 幸也（相模原市立博物館 学芸員）
- 石田 祐子（県立生命の星・地球博物館 学芸員）
- 大西 亘（県立生命の星・地球博物館 主任学芸員）
- 勝山 輝男（神奈川県植物誌調査会 代表）
- 田中 徳久（県立生命の星・地球博物館 学芸部長）
- 田村 淳（県自然環境保全センター 副技幹）
- 山本 薫（横須賀市自然・人文博物館 学芸員）

コケ植物

- 有川 智己（慶應義塾大学経済学部 教授）

藻類

- 加藤 将（新潟大学教育学部 特任准教授）
- 福嶋 悟（藻類研究所分析センター センター長）

菌類

- 折原 貴道（県立生命の星・地球博物館 主任学芸員）
- 出川 洋介（筑波大学山岳科学センター菅平高原実験所 准教授）